

文化庁委託事業報告書

令和2年度

日本語教育総合調査補助業務

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の
標準的なカリキュラム案」の改定のための
基礎調査及び Can do 作成に係る事業報告書

令和3年3月

株式会社47ブランディング

目次

概要

第1章 事業の概要	2
1. 事業の趣旨	2
2. 事業の実施体制	3
3. 事業の具体的な実施内容	4
(1) 実態調査	4
(2) ヒアリング調査	4
(3) B1 Can do 素材の作成	4
4. 「標準的なカリキュラム案」改定への調査等の活用	4
(1) 「生活上の行為の事例」の見直しへの活用	4
(2) B1 Can do 素材作成への活用	4
第2章 結果概要－「標準的なカリキュラム案」改定のための基礎資料－	5
1. 必要性が高いと思われる「生活上の行為の事例」	5
2. 学習の優先度が高い B1 Can do 素材	7

調査の過程と結果の詳細

第3章 実態調査の結果	10
1. 調査概要	10
(1) 調査実施概要	10
(2) 調査内容	10
2. 調査項目及び回答者の属性	11
(1) 「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)の修正等	11
(2) 回答者の属性	13
(3) 実態調査の結果一覧の見方	14
3. 実態調査の結果	15
(1) 実態調査の結果一覧	15
第4章 ヒアリング調査の結果	17
1. 調査概要	17
(1) 調査概要	17
(2) 調査内容	17
2. 調査結果	18
(1) 現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」について	19
(2) 「標準的なカリキュラム案」の活用について	21
(3) 教室や教材で取り上げるテーマについて	21
(4) 各団体が独自に教材に追加している生活上の行為の事例について	22
(5) 教材作成について	22
(6) 「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」に分類される「生活上の行為の事例」について	23
(7) 外国人学習者について変化を感じる点について	24

(8)日本語教室の役割や今後の在り方について	24
(9)「標準的なカリキュラム案 Can do(試案)」について	25
(10)標準的なカリキュラム案の方向性について.....	25
(11)標準的なカリキュラム案の構成について	25
第5章 B1 Can do 素材の作成	26
1. B1 Can do 素材作成のプロセス	26
(1)ワーキンググループの結成	26
(2)B1 Can do 素材作成作業の手順	26
資料編	28
1. 実態調査	28
(1)実態調査調査票	28
(2)回答者属性.....	37
(3)全体集計の結果(遭遇頻度別).....	48
(4)全体の集計結果(「日本語でできる」の回答割合別).....	52
(5)全体集計の結果(「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合別)	57
(6)15歳以下の子供がいる人、現在就業している人の回答結果	62
2. 有識者会議.....	65
(1)有識者会議委員名簿	65
(2)有識者会議の経過.....	65
3. ワーキンググループ	66
(1)ワーキンググループ名簿	66
(2)ワーキンググループの活動経過.....	66

概要

第1章 事業の概要

1. 事業の趣旨

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」が取りまとめられてから10年が経過した。その間に、平成30年には外国人労働者受入れ拡大を目指して改正出入国管理法が成立し、令和元年には新たな在留資格として「特定技能」が創設された。また、同じく令和元年に「日本語教育の推進に関する法律」（日本語教育推進法）が公布、施行され、令和2年には基本方針が成立した。基本方針では、地域日本語教育において外国人が日本語で意思疎通を図り、自立した言語使用者として生活できるよう支援する必要性について明記された。

このような外国人の受入れや日本語教育を取り巻く状況の変化や、我が国の在留外国人の増加・定住化に伴い、日本語教育の対象者も増加しており、日常生活を送る上で必要な日本語を学習する外国人が増えてきている。

このため国内における外国人に対する日本語教育について多様な視点から総合的に調査・分析し、今後の日本語教育の在り方を検討する必要性が生じており、本事業はその検討のための基礎資料の収集を目的に実施したものである。

令和2年度は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会において、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」（文化審議会国語分科会 2010、以下「標準的なカリキュラム案」という。）の改定について議論されていることから、主に現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の見直しを行うとともに、「生活者としての外国人」のための日本語教育の内容に関する文献調査、日本語教育実施機関への実態調査等を行い、改定作業のための基礎資料を収集した。

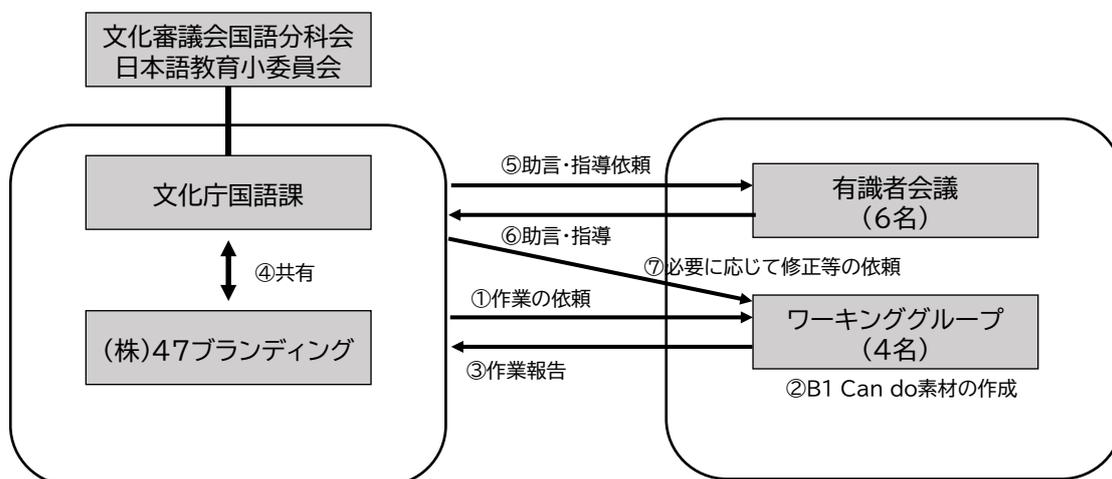
また、令和2年11月には日本語教育小委員会が「日本語教育の参照枠 一次報告」（文化審議会国語分科会日本語教育小委員会 2020）を取りまとめ、その中で「標準的なカリキュラム案 Can do（試案）」を作成した。「標準的なカリキュラム案」の改定のための基礎資料の一つとして、在留外国人の滞在期間の長期化、定住化を踏まえ、「標準的なカリキュラム案」の「生活上の行為の事例」に基づくB1相当のCan doの素材（以下、「B1 Can do 素材」という。）の作成を行った。

なお、本事業は文化庁の委託により株式会社47ブランディングが実施した。

2. 事業の実施体制

本事業の実施にあたり、有識者会議を組織するとともに、日本語教育の専門性が必要な調査・作業を行うためのワーキンググループを結成した。

図1 事業の実施体制



【有識者会議】

有識者会議では、受託者の活動やワーキンググループが行う業務について、助言を受けた。有識者会議委員には、会議以外においても受託者の活動等に助言をいただいた。

【ワーキンググループ】

ワーキンググループは、「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の下位項目を基に、B1 Can do 素材及び学習の要素の作成を行った。

3. 事業の具体的な実施内容

本事業では、現行の「標準的なカリキュラム案」の見直しのための基礎資料の収集・作成を目的として、外国人を対象とする実態調査と日本語教育を行う団体を対象としたヒアリング調査を行った。また、B1 Can do 素材の作成を行った。

(1)実態調査

現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の見直しを目的とし、外国人を対象とするアンケート調査を行った。調査では、「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)について、「遭遇頻度」、「日本語でできるか」、「日本語でできるようになりたいか」を尋ねた。

(2)ヒアリング調査

実態調査の結果の補完と、現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」への意見を把握するため、文化庁の地域日本語教育に関する事業を活用する団体から7団体に協力を依頼し、オンライン会議システムを用いてヒアリング調査を行った。

(3)B1 Can do 素材の作成

「標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例」をもとに作成された「標準的なカリキュラム案 Can do(試案)」では、来日して間もない外国人を想定し、生活基盤の形成上必要な言語行為、緊急性に関わる言語行為を中心に作成しているため、A1・A2レベルのものが多くなっている。このため、「標準的なカリキュラム案」の「生活上の行為の事例の整理」に基づいて、今後必要性が高まるとされるB1相当のCan do素材を作成した。作成にあたっては、文化庁が行う各事業に関与する等、「生活者としての外国人」に対する日本語教育に関わったことがある日本語教師4人を選定してワーキンググループを結成し、ワーキンググループのメンバーに作成を依頼した。

4. 「標準的なカリキュラム案」改定への調査等の活用

(1)「生活上の行為の事例」の見直しへの活用

実態調査の結果から「生活者としての外国人」にとって必要性が高いと思われる日本語での言語行為を絞り込むとともに、団体ヒアリング調査の結果から充実や追加が必要と思われる「生活上の行為の事例」を検討する。

(2)B1 Can do 素材作成への活用

「標準的なカリキュラム案」改定のための基礎資料の一つとして、実態調査の結果から特に外国人にとって必要性が高いと思われる日本語での「生活上の行為の事例」を抽出し、その結果を用いてワーキンググループが新たに作成したB1 Can do素材から学習の優先度が高い素材の選定を行った。

第2章 結果概要－「標準的なカリキュラム案」改定のための基礎資料－

本章では、実態調査及び、ヒアリング調査の結果から把握した、学習の優先度が高いB1 Can do素材を示す。

1. 必要性が高いと思われる「生活上の行為の事例」

学習の優先度が高いB1 Can do 素材を選定するために、実態調査の結果を用いて「生活上の行為の事例の整理」の中から外国人にとって必要性が高いと思われる日本語での言語行為の項目の選定を行った。

選定を行うにあたり、実態調査の各項目について、遭遇頻度の平均点は高くなるにつれて外国人にとってより日常的な行為であり、「日本語でできる」「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合は高くなるにつれて生活上日本語でできる必要性がより高い行為であると捉え、調査結果を遭遇頻度の平均点と、「日本語でできる」と「日本語でできないが、できるようになりたい」を合わせた回答割合との二軸を掛け合わせて、「生活上の行為の事例」を分類した。

分類した結果から、「日本語でできる」と「日本語でできないが、できるようになりたい」とを合わせた回答割合が高く、かつ遭遇頻度の平均点が高い項目を生活上日本語でできる必要性が最も高い行為とし、それらを中心に全調査項目132項目の3分の1にあたる44項目の生活上の行為を選定した。(図2の太線部分、分類の詳細は次ページに示す。)

図2 回答割合と遭遇頻度の平均点を用いた整理イメージ

		遭遇頻度の平均点			
		2.0未満	2.0以上 3.0未満	3.0以上 4.0未満	4.0以上
（い日本 語で できる よう に日 本語 た い で き な	95%以上				
	90%以上 95%未満				
	80%以上 90%未満				
	70%以上 80%未満				
	70%未満				

また、遭遇頻度の平均点は低いが「日本語でできる」と「日本語でできないが、できるようになりたい」を合わせた回答割合が特に高い項目、遭遇頻度の平均点は特に高いが「日本語でできる」と「日本語でできないが、できるようになりたい」を合わせた回答割合が低い項目も、日本語でできる必要性が高い行為として選定した。(図2の点線部分)

表1 実態調査結果に基づく「生活上の行為の事例」の分類

		遭遇頻度の平均点							
		2.0未満	2.0以上3.0未満	3.0以上4.0未満	4.0以上				
95%以上	11 事件・事故があった際に周りの人に助けを求める	I	39 道を聞く	IV	87 自己紹介をする 21 飲食店を利用し、注文や支払いなどをする 22 各種サービス(コンビニATM、クリーニング店、宅急便、出前)を利用する 9 立入禁止等の注意書き等を理解し事故を回避する 89 異文化コミュニケーションについて理解する 23 商品情報(素材、注意書き等)について理解する 90 異文化摩擦事例について理解する	VI III III I VII III VII	86 人付き合いの中であいさつをする 88 日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのっとって行動する 20 店員がいる店(スーパー、コンビニなど)で、買い物をする 116 日常生活の中で日本語を学習する 24 購入額を確認・計算する	VII VII III IX III	
	90%以上95%未満	4 処方せんを持って薬局へ行く	I	6 薬の説明を理解し、適切に利用する	I	28 ATMを利用する	III	96 公共マナー(ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等)を理解する	VIII
		1 症状に合わせて、医療機関を探す	I	13 災害発生時に身を守るために行動する	I	115 日本語を学習する際に、助言を求める	IX	130 携帯電話・スマートフォンを利用する	X
		3 医者の説明・指示を理解し、応答する	I	7 体調管理や健康診断の受診などで病気を予防する	I	117 日本の共通言語、方言、敬語について理解する	IX	126 インターネットで検索する	X
		2 問診表に記入する	I	5 薬局・薬店を利用する	I	91 異文化における多様なあいさつがあることを理解し、対応する	VII	131 SNS(LINE、Messengerなど)を利用する	X
		34 タクシーに乗って行き先を指示する	IV	12 避難場所・方法を確認する	I	38 交通標識を理解する	IV	127 電子メールを利用する	X
		33 タクシーを呼ぶ	IV	122 地域の公共施設(図書館、スポーツセンター等)を利用する	IX	114 日本語を学習する際に、辞書や教材を利用する	IX		
		35 タクシーの運賃を支払う	IV	36 住所・番地を確認する	IV	32 公共交通機関で運賃を支払う・切符を購入する	IV		
		92 各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする	VII	121 情報(イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等)を収集する	IX	118 日本の社会問題について理解する	IX		
		14 住居を探す	II	123 郵便を利用する	X	8 食品保存の注意書きを理解するなどして、衛生管理をする	I		
16 引っ越しをする		II	26 口座を開設する	III	25 クレジットカード、ポイントカードなどを利用する	III			
125 インターネットプロバイダーと契約する	X	19 電気・ガス・水道等の料金を支払う	II	37 地図を理解する	IV				
80%以上90%未満	15 住まいに関する契約をする	II	67 給与明細について理解する	VI	73 各種通信(メモ、メッセージ、電子メール)で仕事上のやりとりをする	VI			
	94 確定申告・還付申告を行う	VII	104 生活設計をするにあたっての将来目標を設定する	IX	74 仕事に関する文書(発表、通知)について理解する	VI			
	71 危険・事故・けが・損傷について報告する	VI	80 職場でアイデアや見解を効果的に発表する	VI	41 駐輪場を利用する	IV			
	79 雇用の契約更新の手続きを行う	VI	101 国民健康保険・国民年金等に加入する	VII	42 施錠するなど自転車の盗難防止をする	IV			
	97 自治会行事に参加・協力する	VII	107 各種資格を取得する	IX	77 指示された業務を遂行する	VI			
	103 医療費補助を請求する	VII	66 労働条件について理解する	VI	82 事務機器を活用する	VI			
	65 雇用契約を交わす	VI	70 安全上の標示等を理解する	VI					
	63 就職のための情報収集をする	VI	69 仕事の指示・マニュアル等を理解する	VI					
	102 各種補助金を申請する・受給する	VII	81 就業に必要な能力を理解する	VI					
	78 人事考課の面談を受ける	VI	43 運転免許の手続等をする	IV					
70%以上80%未満	64 求人に応募する	VI	75 取引先や顧客等と業務に関する情報をやりとりする	VI					
	100 福祉サービス、関係団体とのネットワーク、相談窓口などの支援を利用する	VII	76 取引先や顧客等に進捗(しんちよく)状況・問題を報告する	VI					
	99 各種手当(育児手当、扶養手当、介護申請等)を申請する	VII	128 固定電話を利用する	X					
	68 労働者団体(組合等)へ加入する	VI							
	98 地方参政権、選挙等について理解する	VII							
	129 ファクシミリを利用する	X							
	52 健康診断の通知等について理解する	V							
	51 伝染病の予防接種を受ける	V							
	57 学校行事に参加する	V							
	59 子どもの学校生活について先生に相談する	V							
70%未満	61 子供の障害の特徴等を理解する	V							
	46 母子健康手帳の使い方や内容を理解し、母子健康手帳をもらう	V							
	48 乳幼児健診を受ける	V							
	45 出産前の健診を受ける	V							
	62 子供を特別支援学校・学級への入学手続きをする	V							
	47 出産に伴う手続きや準備をする	V							

※「大分類」の記号について

- I:健康・安全に暮らす II:住居を確保・維持する III:消費活動を行う IV:目的地に移動する
- V:子育て・教育を行う VI:働く VII:人とかかわる VIII:社会の一員となる
- IX:自身を豊かにする X:情報を収集・発信する

2. 学習の優先度が高い B1 Can do 素材

1で整理した日本語でできる必要性が高い「生活上の行為の事例」に基づき、学習の優先度が高いB1 Can do素材を選定した。今後、質的検証及び量的検証を経る必要があるが、ここではサンプルとしてワーキンググループが作成したB1 Can do素材の一部を示す。

表2 B1Can do 素材のサンプル(一部)

No.	大分類	中分類	小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	Can do素材	CEFR 大分類	CEFR 小分類	CEFR カテゴリ	CEFR レベル
1	I 健康・安全に暮らす	02安全を守る	04事故に備え、対応する	事故を回避する(各種の標識・注意書き等を理解する(高電圧危険、感電注意、立入禁止等))	普段から地域の人たちと相互に情報交換や支援ができる態勢を作っておく	地域の防災訓練などで、町内会の人と消火訓練を行うために、訓練の詳細について確認や指示をしたり、受けたりすることができる。	話すこと	やり取り	共同作業中にやりとりをする	B1
2	I 健康・安全に暮らす	02安全を守る	04事故に備え、対応する	防犯対策(施錠等)を行う	空き巣からの防犯対策をする	ホームセンターで例えば携帯用の防犯ブザーなどの防犯グッズを探るとき、店員に商品の種類や使用方法などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	話すこと	やり取り	店や公共機関でやりとりをする	B1
3	I 健康・安全に暮らす	02安全を守る	04事故に備え、対応する	犯罪に対処する	近隣に助けを求める	盗難や交通事故など、予期しないトラブルに巻き込まれたとき、近所の人にその状況について簡単に説明し、相談することができる。	話すこと	やり取り	店や公共機関でやりとりをする	B1
4	I 健康・安全に暮らす	02安全を守る	04事故に備え、対応する	交通事故に対処する	救命・応急手当をする	発音がはっきりしていれば、救急救命研修などで、AEDから流れる機材の使い方や注意などの音声ガイドの説明や指示を聞いて、理解できる。	理解すること	聞くこと	指示やアナウンスを聞く	B1
5	Ⅲ消費活動を行う	05物品購入・サービスを利用する	08物品購入・サービスを利用する	対面販売で購入する	日本の商業や店舗の事情の概略を知る	インターネット上にある日本の小売業に関する簡単な記事などを読んで、商店街の不振、コンビニエンスストア、ネット通販、大型商業施設の増加など、小売業の変化について、重要な情報を理解することができる。	理解すること	読むこと	情報や要点を読み取る	B1
6	Ⅲ消費活動を行う	05物品購入・サービスを利用する	08物品購入・サービスを利用する	飲食店を利用する	日本の外食事情や飲食店の種類等について概略を知る	県や都市別の旅行雑誌やガイドブックなどの、ある程度長い文章に目を通して、お勤めの飲食店の種類や特徴など、その地域の外食事情を知るために必要な情報を探し出すことができる。	理解すること	読むこと	必要な情報を探し出す	B1
7	Ⅲ消費活動を行う	05物品購入・サービスを利用する	08物品購入・サービスを利用する	飲食店を利用する	知り合いに自分の希望を伝えて店を推薦してもらう	地域のエスニックレストランなどの飲食店についてよく知っている人に、場所や雰囲気、好みの料理、アレルギーやハラルへの対応の有無などの希望を詳しく言って、必要な情報を得ることができる。	話すこと	やり取り	情報交換する	B1
8	Ⅳ目的地に移動する	07公共交通機関を利用する	10電車、バス、飛行機、船等を利用する	運賃を支払う・切符を購入する	質問する	どのような切符で旅行するか検討するために、駅などの窓口でフリーパス、夫婦やグループでの割引、クーポンやキャンペーンなどについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	話すこと	やり取り	店や公共機関でやりとりをする	B1
9	Ⅳ目的地に移動する	08自力で移動する	13自転車を利用する	交通ルールを遵守する	自転車の走行法と交通標識を理解する	警察が発行している、交通安全のためのリーフレットなどの文章を読んで、ルールを守って安全に自動車や自転車に乗るための重要な情報を理解することができる。	理解すること	読むこと	必要な情報を探し出す	B1
10	Ⅶ人と関わる	14他者との関係を円滑にする	31人と付き合う	あいさつをする	世間話をする	最近の地域のニュースやイベントなど身近な話題について、近所の人や友人と簡単なコメントや意見を交換することができる。	話すこと	やり取り	インフォーマルな場面でやりとりをする	B1
11	Ⅶ人と関わる	14他者との関係を円滑にする	31人と付き合う	自己紹介をする	印象的な自己紹介をする	地域住民の集まりなどの場で自己紹介するとき、日本で生活で驚いたことなどについて、そのときの気持ちも交えて、ある程度詳しく語ることができる。	話すこと	発表	経験や物語を語る	B1
12	Ⅶ人と関わる	14他者との関係を円滑にする	31人と付き合う	日本の一般的なマナーを理解し、マナーののっとり行動する	日本社会におけるつきあい方を理解する	地域住民との日本語でのコミュニケーションで誤解などが生じたとき、友人にある程度詳しく状況や心情を説明し、解決策を聞いたり、意見を交換したりすることができる。	話すこと	やり取り	インフォーマルな場面でやりとりをする	B1
13	Ⅶ人と関わる	14他者との関係を円滑にする	32異文化を理解する	異文化摩擦事例について理解する	本や資料を読んでも知る	国際結婚やカルチャーショックなど、異文化に関する悩み相談と、それに対する助言が書かれた簡単な記事などを読んで、主要な情報を理解することができる。	理解すること	読むこと	情報や要点を読み取る	B1
14	Ⅶ人と関わる	14他者との関係を円滑にする	32異文化を理解する	異文化摩擦事例について理解する	困難点の解決方法を見つける	近所の人や同僚などと生活習慣や文化などの違いが原因で、関係がうまくいっていないなどの問題が生じたとき、友人にある程度詳しく状況や心情を説明し、解決の方法を相談することができる。	話すこと	やり取り	インフォーマルな場面でやりとりをする	B1
15	Ⅷ社会の一員となる	15地域・社会のルール・マナーを守る	34住民としてのマナーを守る	ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する	広報誌で知る	地域などで発行している、外国人向けの生活情報パンフレットなどの、ある程度長い文章に目を通して、ゴミの分け方や出し方や粗大ごみの処分方法など、ゴミ出しに必要な情報を探し出すことができる。	理解すること	読むこと	必要な情報を探し出す	B1

No.	大分類	中分類	小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	Gan do素材	CEFR 大分類	CEFR 小分類	CEFR カテゴリー	CEFR レベル
16	Ⅷ社会の一員となる	15地域・社会のルール・マナーを守る	34住民としてのマナーを守る	ゴミ出し（ゴミの分け方）について理解する	クレーム（苦情）に対応する	近所の人とゴミの出し方などの問題が生じたとき、自分のゴミの出し方についてある程度詳しく状況を説明し、苦情に対応することができる。	話すこと	やり取り	インフォーマルな場面でやりとりをする	B1
17	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	40学習を管理する	学習の自己管理をする	学習計画を調整する	計画通りに日本語の学習が進まないとき、日本語教室の教師や支援者などに、学習の進捗や不調について簡単に説明し、相談することができる。	話すこと	やり取り	店や公共機関でやりとりをする	B1
18	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	41学習方法を身に付ける	辞書や教材を利用する	分からないことを聞く	日本語学習のための教材やアプリについて、どんなものを使いやすいかや自分に向いているかなど、詳しい情報を日本語教室のクラスメートや教師に質問したり、質問に答えたりすることができる。	話すこと	やり取り	情報交換する	B1
19	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	41学習方法を身に付ける	コンピューターを活用し自学自習する	自学自習のためのコンピューター・ターミナルを身に付ける	コンピューターの使い方が分からないとき、インターネットの接続方法やパソコンの設定方法など、コンピューターに詳しい友人に質問し、詳しい情報を得ることができる。	話すこと	やり取り	情報交換する	B1
20	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	41学習方法を身に付ける	コンピューターを活用し自学自習する	学習をモニターし成果を評価する	表計算ソフトを使用し、教材などを見ながら、学習目標などを記した自己評価のためのチェックリストを作り、終わった項目にチェックを入れたり、目標の達成度や学習の振り返りなどがある程度詳しく書き込むことができる。	書くこと	書くこと	作文を書く	B1
21	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	42日本語を学習する	辞書や教材を利用する	辞書や教材の種類を調べる	日本語教室の先生やクラスメートに日本語学習のための辞書や教材などについて質問し、おすすめのものや使っていて役に立ったものなど、ある程度詳細な説明を理解することができる。	話すこと	やり取り	店や公共機関でやりとりをする	B1
22	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	42日本語を学習する	日常生活の中で日本語を学習する	周囲の人の日本語使用を観察し参考にする	自分にとって身近な話題に関するテレビドラマなどを見て、映像を頼りに、登場人物の関係や物語の大筋など、主要な情報を理解することができる。	理解すること	聞くこと	テレビや映画を見る	B1
23	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	42日本語を学習する	日常生活の中で日本語を学習する	学習の仲間を作る	日本語学習者のオンライン上の交流会の活動紹介や参加にあたってのルールなどを、SNSなどで新たなメンバーを募るために、ある程度詳しく書くことができる。	書くこと	書くこと	作文を書く	B1
24	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	43日本について理解する	言語（共通語、方言、敬語）について理解する	共通語、方言、敬語の表現/使い方を学ぶ	近所の人と話していて、分からないことばや方言を聞いたときに、そのことばについて質問し、ことばの意味や使う状況などある程度詳細な説明を理解することができる。	話すこと	やり取り	インフォーマルな場面でやりとりをする	B1
25	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	43日本について理解する	社会問題について理解する	情報を入手する	日本の社会問題に関する情報を入手するため、SNSのタイムラインから、現在話題になっている社会問題に関する簡単な記事を読んで、主要な情報を理解することができる。	理解すること	読むこと	情報や要点を読み取る	B1
26	Ⅸ自身を豊かにする	19学習する	43日本について理解する	教育事情、学校制度について理解する	教育事情、学校制度について学べる機会を探す	小学校に入学するときの入学前のしおりなどのある程度長い文章に目を通して、準備しておくものや、学校行事のスケジュールなど、子どもの就学のために必要な情報を探し出すことができる。	理解すること	読むこと	必要な情報を探し出す	B1
27	Ⅸ自身を豊かにする	20余暇を楽しむ	44余暇を楽しむ	外出や余暇の計画を立てる	余暇を過ごす場所や利用方法を知る	スキー場やキャンプ場など、休暇を過ごす場所について、おすすめや利用方法などの詳しい情報を、親しい人に質問したり、答えたりすることができる。	話すこと	やり取り	情報交換する	B1
28	X情報を収集・発信する	21通信する	46インターネットを利用する	ネット検索する	検索結果を読み取り必要な絞り込みをする	託児サービスがある日本語教室についてインターネットで検索して出てきたある程度長い文章に目を通して、参加方法や学習内容など、どのページを開くか決めるために必要な情報を探し出すことができる。	理解すること	読むこと	必要な情報を探し出す	B1
29	X情報を収集・発信する	21通信する	46インターネットを利用する	電子メールを利用する	トラブルに対処する	電子メールについてトラブルが起き、自分では解決できないとき、サポートセンターなどに電話し、トラブルの内容やどう対処してみたかなどについて、簡単に説明し、相談することができる。	話すこと	やり取り	店や公共機関でやりとりをする	B1
30	X情報を収集・発信する	21通信する	47電話・ファクシミリを利用する	電話・ファクシミリを発信する	電話事情の概要を知る	携帯電話を購入するために電気屋に行ったときに、店員が提案する契約プランやオプションの特徴などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	話すこと	やり取り	店や公共機関でやりとりをする	B1
31	X情報を収集・発信する	21通信する	47電話・ファクシミリを利用する	電話・ファクシミリを発信する	留守番電話に伝言を入れる	帰宅が遅れることになり、家族に電話をしたがつかないときに、留守番電話で、帰宅が遅くなる理由、済ませておいてほしい用事や家事の内容などについて順序立てて説明することができる。	話すこと	発表	経験や物語を語る	B1

調査の過程と結果の詳細

調査の過程と結果の詳細

第3章 実態調査の結果

現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の見直し及び、学習の優先度が高い、B1 Can do素材の絞り込みを目的として、日本語を学ぶ外国人を対象としたアンケート調査を行った。本章では、実態調査の概要について述べた上で、調査結果を示す。

1. 調査概要

(1) 調査実施概要

文化庁の地域日本語教育事業を活用する約80団体、都道府県・政令市・中核市に協力を依頼し、アンケート調査を実施した。調査は新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、ウェブアンケートで行った。回答言語は、国内の在留外国人の国籍別の人口を考慮し、11言語に翻訳している。

調査対象	日本語を学ぶ外国人
調査方法	ウェブアンケート (文化庁の地域日本語教育事業を活用する約80団体、都道府県・政令市・中核市に協力を依頼)
調査期間	令和3年2月4日～2月23日
回収状況	955人
翻訳言語	英語、中国語(簡体字)、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ミャンマー語、ネパール語(11言語) ※依頼団体用に上記の他、日本語版も用意した。

(2) 調査内容

回答者の属性に関する質問と、「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)¹について回答を求めた。「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)については、生活の中での遭遇頻度や日本語での達成状況等を尋ねた。

回答者の属性	年代、性別、15歳以下の子供の有無、出身国、在留資格、居住地域、言語、滞日年数、職業、日本語使用状況等
設問	「標準的なカリキュラム案について」に収録されている「生活上の行為の事例」(P.121～)の事例1(上位項目)について、生活の中での遭遇頻度、日本語での達成状況、できるようになりたいか等の希望の回答を求めた。

¹ 回答のしやすさを考慮し、「生活上の行為の事例」の表現に修正を加えている。次ページ参照。

2. 調査項目及び回答者の属性

(1)「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)の修正等

「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)を実態調査の調査項目とするにあたり、回答のしやすさを考慮して表現修正や統合を行った項目、社会状況に鑑みて新たに追加した項目がある。修正・追加を行った項目は次のとおりである。

表3 調査項目にするための「生活上の行為の事例」の変更

大分類	設問番号順	標準的なカリキュラム案の分類番号	調査項目	標準的なカリキュラム案の分類番号	「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)	変更内容
I	1	0101	症状に合わせて、医療機関を探す	0101	適切な医療機関の選択をする	修正
I	7	0301	体調管理や健康診断の受診などで病気を予防する	0301	病気を予防する	修正
I	8	0302	食品保存の注意書きを理解するなどして、衛生管理をする	0302	衛生管理をする	修正
I	9	0401	立入禁止等の注意書き等を理解し事故を回避する	0401	事故を回避する(各種の標識・注意書き等を理解する(高電圧危険、感電注意、立入禁止等))	修正
I	10	0402	施錠など防犯に関する内容を理解し、防犯対策を行う	0402	防犯対策(施錠等)を行う	修正
I	11	0403 0404	事件・事故があった際に周りの人に助けを求める	0403 0404	犯罪に対処する 交通事故に対処する	統合
I	13	0502 0503 0504	災害発生時に身を守るために行動する	0502 0503 0504	地震発生時に適切に行動する 台風発生時に適切に行動する 火災発生時に適切に行動する	統合
II	15	0602	住まいに関する契約をする	0602	契約する	修正
III	20	0801	店員がいる店(スーパー、コンビニなど)で、買い物をする	0801	対面販売で購入する	修正
III	21	0802	飲食店を利用し、注文や支払いなどをする	0802	飲食店を利用する	修正
III	22	0803	各種サービス(コンビニATM、クリーニング店、宅急便、出前)を利用する	0803	各種サービスを利用する	修正
III	25	0806	クレジットカード、ポイントカードなどを利用する	0806	カード等を利用する	修正
IV	29	1001	公共交通機関の時刻表を確認する	1001	時刻表を確認する	修正
IV	30	1002	公共交通機関の路線図を確認する	1002	路線図を確認する	修正
IV	31	1003	公共交通機関での行き先・停留所を確認する	1003	行き先・停留所を確認する	修正
IV	32	1004	公共交通機関で運賃を支払う・切符を購入する	1004	運賃を支払う・切符を購入する	修正
IV	34	1102	タクシーに乗って行き先を指示する	1102	行き先を指示する	修正
IV	35	1103	タクシーの運賃を支払う	1103	運賃を支払う	修正
IV	40	1301	自転車の交通ルールを理解し遵守する	1301	交通ルールを遵守する	修正
IV	42	1303	施錠するなど自転車の盗難防止をする	1303	盗難防止(施錠)する	修正
IV	44	1402	車・オートバイ等を運転する際に道路交通法を理解し遵守する	1402	道路交通法を遵守する	修正
V	46	1502	母子健康手帳の使い方や内容を理解し、母子健康手帳をもらう	1502	母子健康手帳をもらう	修正
V	47	1601	出産に伴う手続きや準備をする	1601	出産する	修正
V	49	1603	子供の身長・体重・身体発達といった子育てに関する情報を理解する	1603	身長・体重・身体発達を理解する	修正
V	50	1701	子供の健康を管理(食事、歯磨き、睡眠等)する	1701	健康管理(食事、歯磨き、睡眠等)する	修正
V	54	1802	子供の遊び場として公園を利用する	1802	公園を利用する	修正
V	58	2003	学費などを理解し、納入する	2003	諸経費を理解し、納入する	修正
V	59	2004	子どもの学校生活について先生に相談する	2004	差別・いじめ・トラブルなどに対応する	修正
V	61	2101	子供の障害の特徴等を理解する	2101	障害の特徴等を理解する	修正
V	62	2102	子供を特別支援学校・学級への入学手続きをする	2102	特別支援学校・学級へ入学する	修正

大分類	設問 番号 順	標準的な カリキュラム 案の分 類番号	調査項目	標準的な カリキュラム 案の分 類番号	「標準的なカリキュラム案」に収録されている 「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)	変更 内容
VI	63	2201	就職のための情報収集をする	2201	情報収集をする	修正
VI	64	2202	求人に応募する	2202	応募する(面接を受ける)	修正
VI	69	2401	仕事の指示・マニュアル等を理解する	2401	指示・マニュアル等を理解する	修正
VI	70	2402	安全上の標示等を理解する	2402	安全上の標示に対応する	修正
VI	73	2502	各種通信(メモ、メッセージ、電子メール)で仕事上のやりとりをする	2502	各種通信(メモ、メッセージ、電子メール)でやりとりをする	修正
VI	74	2503	仕事に関する文書(発表、通知)について理解する	2503	文書(発表、通知)について理解する	修正
VI	75	2601	取引先や顧客等と業務に関する情報をやりとりする	2601	自身が関係する業務に関する情報提供をする	修正
VI	76	2602	取引先や顧客等に進捗(しんちよく)状況・問題を報告する	2602	進捗(しんちよく)状況・問題などを報告する	修正
VI	79	2702	雇用の契約更新の手続きを行う	2702	契約更新の手続きを行う	修正
VI	80	2801	職場でアイデアや見解を効果的に発表する	2801	アイデアや見解を効果的に発表する	修正
VI	81	2802	就業に必要な能力を理解する	2802	就業に必要なスキルについて理解する	修正
VI	83	3001	職場であいさつをする	3001	あいさつをする	修正
VI	85	3003	職場で誘う、誘われる	3003	誘う、誘われる	修正
VII	86	3101	人付き合いの中であいさつをする	3101	あいさつをする	修正
VII	91	3203	異文化における多様なあいさつがあることを理解し、対応する	3203	多様なあいさつ(おじぎ、握手、ハグ、キス等)に対応する	修正
VIII	99	3601	各種手当(育児手当、扶養手当、介護申請等)を申請する	3601	各種手当(育児手当、扶養手当等)を申請する	修正
VIII	100	3602	福祉サービス、関係団体とのネットワーク、相談窓口などの支援を利用する	3602	福祉サービス、ネットワーク、相談窓口などの支援を利用する	修正
IX	104	3801	生活設計をするにあたっての将来目標を設定する	3801	目標を設定する	修正
IX	106	3901	学習機会について情報収集し、利用方法などを理解して利用する	3901	学習機会を利用する	修正
IX	110	4101	日本語以外の学習をする際に、辞書や教材を利用する	4101	辞書や教材を利用する	修正
IX	111	4101 関連	日本語以外の学習をする際に、助言を求める	4101	辞書や教材を利用する	新規
IX	114	4201	日本語を学習する際に、辞書や教材を利用する	4201	辞書や教材を利用する	修正
IX	115	4201 関連	日本語を学習する際に、助言を求める	4201	辞書や教材を利用する	新規
IX	117	4301	日本の共通言語、方言、敬語について理解する	4301	言語(共通語、方言、敬語)について理解する	修正
IX	118	4302	日本の社会問題について理解する	4302	社会問題について理解する	修正
IX	119	4303	日本の教育事情、学校制度について理解する	4303	教育事情、学校制度について理解する	修正
X	126	4602	インターネットで検索する	4602	ネット検索する	修正
X	128	4701	固定電話を利用する	4701	電話・ファクシミリを発信する	修正
X	129	4702	ファクシミリを利用する	4702	電話・ファクシミリを受信する	修正
X	130	4702 関連	携帯電話・スマートフォンを利用する	4702	電話・ファクシミリを受信する	修正
X	131	4702 関連	SNS(LINE、Messengerなど)を利用する	4702	電話・ファクシミリを受信する	新規
X	132	4801	新聞・雑誌・テレビ・ラジオから情報を収集する	4801	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネットから情報を収集する	修正

「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目)の統合・修正、新規項目の追加を経た、大分類別の調査項目数は、次の表のとおりである。

表4 大分類別調査項目数

大分類	調査項目数
I 健康・安全に暮らす	13
II 住居を確保・維持する	6
III 消費活動を行う	9
IV 目的地に移動する	16
V 子育て・教育を行う	18
VI 働く	23
VII 人とかかわる	6
VIII 社会の一員となる	12
IX 自身を豊かにする	19
X 情報を収集・発信する	10
合計	132

(2)回答者の属性

実態調査の実施にあたっては、性別や年齢、出身国、母語、在留資格といった回答者の属性は限定せずに行ったため、全国の在留外国人の各属性の内訳と実態調査における回答者の各属性の内訳とは異なる²。従って、ここで示す調査結果は、全国の在留外国人の実態を反映しているものではない。

また、実態調査の回答者³のうち、15歳以下の子供がいる人は全体の約3割、就業している人⁴は全体の6割以下となっており、これらは「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」に分類される「生活上の行為の事例」各項目の調査結果に影響を与えていると考えられる。

調査結果を見るにあたっては上記の点に留意する必要がある。

²出身国の割合は、実態調査では中国が28.8%と最も多く、次いでベトナム(12.5%)、ブラジル(7.1%)となっているのに対し、在留外国人統計(2020年6月)では、中国が27.3%と最も多く、次いで韓国(15.1%)、ベトナム(14.6%)となっている。また、在留資格は、実態調査では永住者が16.0%と最も多く、次いで技術・人文知識・国際業務(15.0%)、日本人の配偶者等(13.5%)となっているのに対し、在留外国人統計(2020年6月)では、永住者が27.8%と最も多く、特別永住者(10.7%)、技術・人文知識・国際業務(10.0%)となっている。

³ 実態調査の回答者属性については、p.37 以降で示している。

⁴ 本報告書で「就業している人」は、設問「F8 現在の職業」で「主婦」「学生」「無職」「その他」と回答した人以外とした。

(3)実態調査の結果一覧の見方

実態調査の回答結果は、項目ごとに以下のようにまとめた。

表5 回答結果集計表(イメージ)

A 標準的なカリキュラム案の分類番号	B 設問番号順	C 調査項目	D 大分類	E			F 日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい (%)	G						H 遭遇頻度の平均点
				日本語でできないが、このままできなくてもいい (%)	日本語でできないが、できるようになりたい (%)	日本語でできる (%)		1 全くない (%)	2 年に数回 (%)	3 月に1回 (%)	4 週に1回 (%)	5 週に数回 (%)	6 毎日 (%)	
0101	1	症状に合わせて、医療機関を探す	I	6.1	54.0	39.9	93.9	24.5	65.0	8.1	1.0	0.6	0.7	1.9
0102	2	問診表に記入する	I	6.4	53.3	40.3	93.6	25.0	65.9	6.6	0.8	0.6	1.0	1.8
0103	3	医者の説明・指示を理解し、応答する	I	6.3	56.0	37.7	93.7	22.7	63.2	11.1	1.5	0.6	0.8	1.9
0201	4	処方せんを持って薬局へ行く	I	5.8	44.8	49.4	94.2	29.7	57.8	10.7	0.9	0.2	0.6	1.8
0202	5	薬局・薬店を利用する	I	5.8	43.1	51.1	94.2	21.8	60.3	14.3	2.2	0.8	0.5	2.0
0203	6	薬の説明を理解し、適切に利用する	I	5.1	50.1	44.8	94.9	23.0	59.1	12.9	1.4	0.7	2.9	2.0
0301	7	体調管理や健康診断の受診などで病気を予防する	I	5.5	53.1	41.4	94.5	23.2	62.5	7.3	1.0	0.8	5.0	2.0
0302	8	食品保存の注意書きを理解するなどして、衛生管理をする	I	6.4	44.9	48.7	93.6	16.3	33.9	8.1	7.0	9.1	25.5	3.3
0401	9	立入禁止等の注意書き等を理解し事故を回避する	I	4.8	45.7	49.5	95.2	16.5	35.1	6.3	4.7	8.3	29.1	3.4
0402	10	施設など防犯に関する内容を理解し、防犯対策を行う	I	7.1	49.3	43.6	92.9	24.7	34.6	6.0	3.9	4.4	26.5	3.0
0403 0404	11	事件・事故があった際に周りの人に助けを求める	I	4.5	53.5	42.0	95.5	48.6	35.5	5.3	2.0	1.0	7.5	1.9
0501	12	避難場所・方法を確認する	I	5.9	52.9	41.3	94.1	33.9	49.0	7.3	1.7	1.3	6.8	2.0
0502 0503 0504	13	災害発生時に身を守るために行動する	I	5.4	54.5	40.1	94.6	38.3	44.2	4.4	1.5	1.5	10.2	2.1

A 「標準的なカリキュラム案」「生活上の行為の事例の整理」に収録されている「生活上の行為の事例」の上位項目の分類番号。

B 調査票で掲載した順番を示している。

C 実態調査の調査項目(「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の事例1(上位項目))を示している。

D 調査項目が分類される大分類。分類によって異なる色を付けている。記号は、次のとおり。

I :健康・安全に暮らす

VI:働く

II:住居を確保・維持する

VII:人とかかわる

III:消費活動を行う

VIII:社会の一員となる

IV:目的地に移動する

IX:自身を豊かにする

V:子育て・教育を行う

X:情報を収集・発信する

E 各項目に対する日本語での達成状況・今後の希望に関する質問の選択肢である「日本語でできないが、このままできなくてもいい」、「日本語でできないが、できるようになりたい」、「日本語でできる」のうち、回答割合が最も高い選択肢に黄色い網掛けをしている。

F 「日本語でできないが、できるようになりたい」と「日本語でできる」の回答割合の合計。

G 各項目に対する遭遇頻度のうち、回答割合が高い選択肢上位2つにオレンジ色の網掛けをしている。

H 各項目に対する遭遇頻度について尋ねた質問の選択肢を点数化したものの平均点。平均点が高いほど、遭遇頻度が高いことを表す。

3. 実態調査の結果

(1) 実態調査の結果一覧

調査項目132項目の結果を次に示す。

表6 実態調査の結果一覧

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもいい (%)	日本語でできないが、できるようにしたい (%)	日本語でできる (%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようにしたい (%)	1 全くない (%)	2 年に数回 (%)	3 月に1回 (%)	4 週に1回 (%)	5 週に数回 (%)	6 毎日 (%)	遭遇頻度の平均点
0101	1	症状に合わせて、医療機関を探す	I	6.1	54.0	39.9	93.9	24.5	65.0	8.1	1.0	0.6	0.7	1.9
0102	2	問診表に記入する	I	6.4	53.3	40.3	93.6	25.0	65.9	6.6	0.8	0.6	1.0	1.8
0103	3	医者の説明・指示を理解し、応答する	I	6.3	56.0	37.7	93.7	22.7	63.2	11.1	1.5	0.6	0.8	1.9
0201	4	処方せんを持って薬局へ行く	I	5.8	44.8	49.4	94.2	29.7	57.8	10.7	0.9	0.2	0.6	1.8
0202	5	薬局・薬店を利用する	I	5.8	43.1	51.1	94.2	21.8	60.3	14.3	2.2	0.8	0.5	2.0
0203	6	薬の説明を理解し、適切に利用する	I	5.1	50.1	44.8	94.9	23.0	59.1	12.9	1.4	0.7	2.9	2.0
0301	7	体調管理や健康診断の受診などで病気を予防する	I	5.5	53.1	41.4	94.5	23.2	62.5	7.3	1.0	0.8	5.0	2.0
0302	8	食品保存の注意書きを理解するなどして、衛生管理をする	I	6.4	44.9	48.7	93.6	16.3	33.9	8.1	7.0	9.1	25.5	3.3
0401	9	立入禁止等の注意書き等を理解し事故を回避する	I	4.8	45.7	49.5	95.2	16.5	35.1	6.3	4.7	8.3	29.1	3.4
0402	10	施錠など防犯に関する内容を理解し、防犯対策を行う	I	7.1	49.3	43.6	92.9	24.7	34.6	6.0	3.9	4.4	26.5	3.0
0403	11	事件・事故があった際に周りの人に助けを求める	I	4.5	53.5	42.0	95.5	48.6	35.5	5.3	2.0	1.0	7.5	1.9
0501	12	避難場所・方法を確認する	I	5.9	52.9	41.3	94.1	33.9	49.0	7.3	1.7	1.3	6.8	2.0
0502	13	災害発生時に身を守るために行動する	I	5.4	54.5	40.1	94.6	38.3	44.2	4.4	1.5	1.5	10.2	2.1
0601	14	住居を探す	II	9.1	52.9	38.0	90.9	59.4	36.1	2.2	0.7	0.5	1.0	1.5
0602	15	住まいに関する契約をする	II	10.2	56.8	33.1	89.8	62.0	34.5	1.5	0.5	0.4	1.2	1.4
0603	16	引っ越しをする	II	9.9	53.8	36.2	90.1	64.2	33.5	1.2	0.2	0.0	0.9	1.4
0701	17	電気・ガス・水道等の使用を開始する	II	8.2	49.1	42.7	91.8	40.3	36.3	5.1	0.3	0.1	17.8	2.3
0702	18	電気・ガス・水道等の使用方法を理解する	II	8.0	45.8	46.3	92.0	32.3	38.3	7.5	0.4	0.3	21.2	2.6
0703	19	電気・ガス・水道等の料金を支払う	II	7.5	42.4	50.1	92.5	30.1	26.0	37.9	0.5	0.2	5.3	2.3
0801	20	店員がいる店(スーパー、コンビニなど)で、買い物をする	III	4.4	28.0	67.6	95.6	8.2	9.2	5.9	16.3	38.1	22.3	4.3
0802	21	飲食店を利用し、注文や支払いなどをする	III	3.8	31.0	65.2	96.2	9.1	19.6	18.1	17.8	24.9	10.5	3.6
0803	22	各種サービス(コンビニATM、クリーニング店、宅急便、出前)を利用する	III	4.4	35.7	59.9	95.6	11.5	17.6	17.9	16.2	26.1	10.7	3.5
0804	23	商品情報(素材、注意書き等)について理解する	III	5.0	48.1	46.9	95.0	14.2	18.7	11.2	13.5	22.6	19.7	3.7
0805	24	購入額を確認・計算する	III	4.7	32.8	62.5	95.3	10.5	12.8	8.4	13.5	29.8	25.0	4.1
0806	25	クレジットカード、ポイントカードなどを利用する	III	6.4	38.5	55.1	93.6	20.2	14.0	8.1	11.4	29.0	17.3	3.6
0901	26	口座を開設する	III	7.1	50.9	42.0	92.9	30.3	54.8	2.6	3.2	4.0	5.1	2.1
0902	27	金融機関の各種サービスを利用する	III	7.9	52.8	39.4	92.1	34.2	36.1	11.1	6.3	6.7	5.5	2.3
0903	28	ATMを利用する	III	5.1	33.8	61.0	94.9	10.1	17.6	26.7	19.6	18.2	7.9	3.4
1001	29	公共交通機関の時刻表を確認する	IV	7.2	36.0	56.8	92.8	17.1	31.6	13.6	11.5	14.0	12.1	3.1
1002	30	公共交通機関の路線図を確認する	IV	7.2	38.4	54.3	92.8	19.2	31.4	14.2	10.5	14.9	9.8	3.0
1003	31	公共交通機関での行き先・停留所を確認する	IV	7.1	37.8	55.1	92.9	18.3	31.8	13.9	11.0	14.8	10.2	3.0
1004	32	公共交通機関で運賃を支払う・切符を購入する	IV	5.9	34.6	59.6	94.1	16.8	33.3	14.2	10.5	14.9	10.4	3.0
1101	33	タクシーを呼ぶ	IV	8.4	43.0	48.6	91.6	44.4	38.4	7.4	3.4	3.1	3.2	1.9
1102	34	タクシーに乗って行き先を指示する	IV	8.3	38.8	52.9	91.7	39.7	41.8	8.4	3.4	3.2	3.6	1.9
1103	35	タクシーの運賃を支払う	IV	8.8	35.3	55.9	91.2	40.0	41.2	8.6	3.4	3.1	3.8	1.9
1201	36	住所・番地を確認する	IV	6.8	40.0	53.2	93.2	25.1	39.5	13.5	6.9	8.3	6.7	2.5
1202	37	地図を理解する	IV	6.6	41.8	51.6	93.4	16.5	30.4	13.6	8.8	13.4	17.3	3.2
1203	38	交通標識を理解する	IV	5.4	40.0	54.6	94.6	14.0	26.8	10.9	6.6	12.3	29.4	3.6
1204	39	道を聞く	IV	4.1	39.0	57.0	95.9	25.9	44.4	11.5	3.9	5.7	8.7	2.4
1301	40	自転車の交通ルールを理解し遵守する	IV	8.0	38.4	53.6	92.0	25.4	25.2	7.6	3.7	10.9	27.1	3.3
1302	41	駐輪場を利用する	IV	10.3	35.1	54.7	89.7	33.4	21.0	7.4	5.0	9.1	24.0	3.0
1303	42	施錠するなど自転車の盗難防止をする	IV	10.6	33.9	55.5	89.4	32.1	19.7	6.5	4.1	8.4	29.2	3.2
1401	43	運転免許の手続等をする	IV	11.3	47.5	41.2	88.7	49.2	33.7	2.7	1.8	2.8	9.7	2.0
1402	44	車・オートバイ等を運転する際に道路交通法を理解し遵守する	IV	9.7	45.3	44.9	90.3	40.4	20.0	3.2	2.9	5.7	27.7	2.9
1501	45	出産前の健診を受ける	V	31.6	39.5	28.9	68.4	78.0	13.9	4.4	1.2	0.2	2.3	1.3
1502	46	母子健康手帳の使い方や内容を理解し、母子健康手帳をもらう	V	30.9	40.2	28.9	69.1	75.9	16.0	2.7	1.0	0.5	3.8	1.4
1601	47	出産に伴う手続きや準備をする	V	32.4	40.1	27.5	67.6	80.5	13.5	2.2	0.8	0.1	2.8	1.3
1602	48	乳幼児健診を受ける	V	30.9	40.7	28.4	69.1	77.8	14.9	3.6	1.2	0.2	2.4	1.3
1603	49	子供の身長・体重・身体発達といった子育てに関する情報を理解する	V	29.3	39.8	30.9	70.7	70.8	18.3	4.6	1.0	0.7	4.5	1.5
1701	50	子供の健康を管理(食事、歯磨き、睡眠等)する	V	29.1	38.6	32.3	70.9	68.8	12.9	3.1	1.4	0.8	13.0	1.9
1702	51	伝染病の予防接種を受ける	V	25.8	42.3	31.9	74.2	61.3	30.8	3.4	0.9	0.4	3.2	1.5
1703	52	健康診断の通知等について理解する	V	25.3	43.5	31.2	74.7	56.5	31.8	4.5	1.5	0.5	5.1	1.7
1801	53	地域の育児サービスを利用する	V	29.4	41.2	29.4	70.6	72.6	16.8	3.2	1.5	1.2	4.8	1.5
1802	54	子供の遊び場として公園を利用する	V	28.2	34.0	37.8	71.8	66.4	11.3	5.0	5.4	7.0	4.8	1.8
1901	55	託児施設・保育施設を利用する	V	28.9	38.4	32.7	71.1	76.0	8.8	1.8	1.7	3.6	8.2	1.7
2001	56	就学に関する手続を行う	V	28.4	41.6	30.1	71.6	70.7	21.2	2.1	0.8	1.0	4.2	1.5
2002	57	学校行事に参加する	V	26.2	40.3	33.5	73.8	64.5	24.0	5.3	1.4	1.0	3.8	1.6
2003	58	学費などを理解し、納入する	V	27.3	39.8	32.9	72.7	67.0	20.0	8.1	1.2	0.5	3.2	1.5
2004	59	子どもの学校生活について先生に相談する	V	26.9	42.2	30.9	73.1	69.2	19.4	4.8	1.5	1.4	3.8	1.5
2005	60	進路相談を行う	V	27.2	43.9	28.9	72.8	74.8	17.7	3.2	1.3	0.6	2.4	1.4
2101	61	子供の障害の特徴等を理解する	V	30.7	41.9	27.4	69.3	81.5	10.7	2.6	1.0	0.9	3.2	1.3
2102	62	子供を特別支援学校・学級への入学手続をする	V	32.0	41.5	26.5	68.0	86.0	8.7	2.1	0.7	0.5	2.0	1.2

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもいい(%)	日本語でできないが、できるようになりたい(%)	日本語でできる(%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい(%)	1 全くない(%)	2 年に数回(%)	3 月に1回(%)	4 週に1回(%)	5 週に数回(%)	6 毎日(%)	遭遇頻度の平均点
2201	63	就職のための情報収集をする	VI	12.4	52.8	34.9	87.6	43.8	43.4	4.5	2.2	2.3	3.9	1.8
2202	64	求人に応募する	VI	13.0	53.3	33.7	87.0	50.4	40.0	3.1	2.0	2.0	2.5	1.7
2203	65	雇用契約を交わす	VI	11.9	53.4	34.7	88.1	43.0	49.4	2.6	1.4	0.6	2.9	1.7
2301	66	労働条件について理解する	VI	10.6	51.9	37.5	89.4	36.4	48.0	5.2	1.8	1.4	7.2	2.0
2302	67	給与明細について理解する	VI	10.2	47.9	42.0	89.8	31.9	34.6	26.1	1.5	0.9	5.0	2.2
2303	68	労働者団体(組合等)へ加入する	VI	16.2	53.5	30.3	83.8	68.6	23.6	2.9	1.4	0.5	3.0	1.5
2401	69	仕事の指示・マニュアル等を理解する	VI	11.0	53.6	35.4	89.0	36.9	37.4	7.2	3.1	3.4	12.0	2.3
2402	70	安全上の標示等を理解する	VI	10.6	49.8	39.6	89.4	33.0	39.0	7.1	3.0	2.8	15.1	2.4
2403	71	危険・事故・けが・損傷について報告する	VI	11.0	54.9	34.1	89.0	58.3	27.2	4.3	1.6	1.4	7.2	1.8
2501	72	同僚・上司・部下とやりとりする	VI	9.7	47.3	42.9	90.3	27.6	19.1	3.7	3.7	11.6	34.3	3.5
2502	73	各種通信(メモ、メッセージ、電子メール)で仕事上のやりとりする	VI	10.1	49.1	40.8	89.9	32.7	17.8	3.9	5.5	10.5	29.6	3.3
2503	74	仕事に関する文書(発表、通知)について理解する	VI	10.1	53.0	37.0	89.9	33.3	19.7	5.9	4.3	11.3	25.5	3.1
2601	75	取引先や顧客等と業務に関する情報をやりとりする	VI	13.5	53.8	32.7	86.5	48.6	18.7	3.9	4.2	7.7	16.9	2.5
2602	76	取引先や顧客等に進捗(しんちよく)状況・問題を報告する	VI	13.5	54.7	31.8	86.5	50.5	18.4	4.3	4.0	8.1	14.8	2.4
2603	77	指示された業務を遂行する	VI	10.9	48.0	41.2	89.1	32.3	16.4	3.4	3.8	9.9	34.2	3.4
2701	78	人事考課の面談を受ける	VI	12.5	53.3	34.2	87.5	52.6	30.5	3.6	2.8	1.7	8.9	1.9
2702	79	雇用の契約更新の手続きを行う	VI	11.5	54.1	34.3	88.5	44.9	46.3	2.5	1.5	0.5	4.3	1.7
2801	80	職場でアイデアや見解を効果的に発表する	VI	10.4	55.9	33.7	89.6	41.3	26.2	6.3	4.7	8.2	13.4	2.5
2802	81	就業に必要な能力を理解する	VI	11.1	52.4	36.5	88.9	37.6	29.3	5.7	2.5	5.2	19.7	2.6
2901	82	事務機器を活用する	VI	11.1	47.6	41.3	88.9	38.1	20.7	3.6	3.5	6.5	27.6	3.0
3001	83	職場であいさつする	VI	8.7	37.9	53.4	91.3	26.3	15.5	2.2	2.6	7.5	45.9	3.8
3002	84	手助けに感謝する	VI	8.3	37.6	54.1	91.7	23.8	16.6	2.4	3.8	8.2	45.2	3.9
3003	85	職場で誘う、誘われる	VI	9.7	45.1	45.1	90.3	35.6	26.3	7.4	5.7	6.8	18.2	2.7
3101	86	人付き合いの中であいさつをする	VII	3.5	26.9	69.6	96.5	6.6	15.6	5.8	6.1	15.6	50.4	4.5
3102	87	自己紹介をする	VII	3.1	24.6	72.3	96.9	8.2	39.7	15.9	6.7	11.0	18.5	3.2
3103	88	日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのっとって行動する	VII	3.9	40.9	55.2	96.1	9.1	23.4	7.0	6.4	11.6	42.5	4.1
3201	89	異文化コミュニケーションについて理解する	VII	4.8	46.9	48.3	95.2	11.7	26.0	8.1	6.5	11.9	35.8	3.8
3202	90	異文化摩擦事例について理解する	VII	5.0	49.5	45.4	95.0	16.4	27.9	9.4	4.0	10.4	31.9	3.5
3203	91	異文化における多様なあいさつがあることを理解し、対応する	VII	5.3	47.7	46.9	94.7	14.6	29.0	8.2	5.4	9.4	33.4	3.6
3301	92	各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする	VIII	8.9	53.9	37.2	91.1	31.8	59.5	3.5	0.5	1.3	3.5	1.9
3302	93	各種税金(所得税、住民税等)を支払う	VIII	8.9	54.5	36.6	91.1	26.6	52.6	15.6	0.9	1.0	3.2	2.0
3303	94	確定申告・還付申告を行う	VIII	10.9	58.0	31.1	89.1	40.1	50.8	4.7	0.7	0.9	2.7	1.7
3401	95	ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する	VIII	6.6	38.7	54.7	93.4	10.6	23.2	5.7	10.1	23.5	27.0	3.9
3402	96	公共マナー(ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等)を理解する	VIII	6.7	40.2	53.1	93.3	11.2	25.7	5.3	4.8	9.1	43.9	4.0
3501	97	自治会行事に参加・協力する	VIII	11.5	53.7	34.8	88.5	49.9	32.3	6.0	2.3	2.1	7.4	1.9
3502	98	地方参政権、選挙等について理解する	VIII	17.9	53.7	28.4	82.1	64.1	25.5	3.0	0.8	1.4	5.1	1.6
3601	99	各種手当(育児手当、扶養手当、介護申請等)を申請する	VIII	13.5	56.6	29.8	86.5	59.5	31.5	2.9	1.3	1.0	3.8	1.6
3602	100	福祉サービス、関係団体とのネットワーク、相談窓口などの支援を利用する	VIII	13.0	57.5	29.5	87.0	58.6	30.9	3.4	1.5	1.2	4.5	1.6
3701	101	国民健康保険・国民年金等に加入する	VIII	10.4	53.9	35.7	89.6	29.4	48.2	11.4	1.4	1.4	8.3	2.2
3702	102	各種補助金を申請する・受給する	VIII	12.4	57.3	30.4	87.6	53.0	37.1	4.1	0.8	0.9	4.1	1.7
3703	103	医療費補助を請求する	VIII	11.6	59.0	29.4	88.4	61.5	29.2	3.5	0.9	0.9	4.0	1.6
3801	104	生活設計をするにあたっての将来目標を設定する	IX	10.2	52.0	37.8	89.8	19.0	50.5	9.7	3.1	4.0	13.7	2.6
3802	105	各種資格等に関する情報を収集し、理解する	IX	9.0	56.9	34.1	91.0	26.8	47.7	8.9	3.1	3.2	10.2	2.3
3901	106	学習機会について情報収集し、利用方法などを理解して利用する	IX	7.7	56.5	35.7	92.3	19.8	48.3	10.7	4.7	4.3	12.3	2.6
3902	107	各種資格を取得する	IX	10.4	57.3	32.4	89.6	35.9	46.1	5.5	1.8	2.2	8.5	2.1
4001	108	学習目標を設定する	IX	9.4	52.4	38.2	90.6	18.2	46.4	10.5	5.0	4.8	15.1	2.7
4002	109	学習の自己管理をする	IX	9.0	50.7	40.3	91.0	17.0	38.6	9.6	5.5	7.7	21.5	3.1
4101	110	日本語以外の学習をする際に、辞書や教材を利用する	IX	9.2	49.9	40.8	90.8	20.6	33.4	7.2	6.9	11.2	20.6	3.1
4101関連	111	日本語以外の学習をする際に、助言を求める	IX	8.3	50.6	41.2	91.7	24.1	36.0	9.5	6.7	8.7	15.0	2.8
4102	112	日常生活の中で学習する	IX	7.1	47.3	45.5	92.9	12.3	27.1	6.1	5.9	10.5	38.2	3.8
4103	113	コンピューターを活用し自学自習する	IX	9.0	49.0	42.0	91.0	20.6	25.3	7.0	6.6	12.3	28.2	3.4
4201	114	日本語を学習する際に、辞書や教材を利用する	IX	5.5	45.8	48.7	94.5	11.3	23.9	6.9	8.6	20.1	29.2	3.8
4201関連	115	日本語を学習する際に、助言を求める	IX	5.1	47.7	47.1	94.9	12.5	28.8	7.7	12.7	16.8	21.6	3.5
4202	116	日常生活の中で日本語を学習する	IX	4.4	46.6	49.0	95.6	8.9	21.2	4.4	7.3	16.3	41.9	4.2
4301	117	日本の共通言語、方言、敬語について理解する	IX	5.2	52.4	42.4	94.8	12.3	24.2	6.8	9.1	16.6	31.0	3.8
4302	118	日本の社会問題について理解する	IX	5.9	56.9	37.3	94.1	15.2	27.1	9.1	8.8	14.6	25.2	3.5
4303	119	日本の教育事情、学校制度について理解する	IX	6.8	57.5	35.7	93.2	21.6	31.0	8.1	6.9	11.4	21.0	3.1
4401	120	外出や余暇の計画を立てる	IX	6.7	49.1	44.2	93.3	14.9	35.5	15.7	10.5	11.2	12.3	3.0
4402	121	情報(イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等)を収集する	IX	6.8	53.6	39.6	93.2	21.8	36.0	11.7	9.5	9.2	11.7	2.8
4403	122	地域の公共施設(図書館、スポーツセンター等)を利用する	IX	6.6	50.6	42.8	93.4	25.0	35.6	11.5	7.4	9.6	10.8	2.7
4501	123	郵便を利用する	X	6.8	40.0	53.2	93.2	14.0	40.0	17.9	7.6	9.7	10.7	2.9
4502	124	宅配便を利用する	X	7.6	42.4	49.9	92.4	19.5	41.8	19.6	6.6	7.9	4.7	2.5
4601	125	インターネットプロバイダーと契約する	X	9.9	53.1	37.0	90.1	41.4	41.6	7.3	2.7	2.4	4.6	1.9
4602	126	インターネットで検索する	X	8.0	41.5	50.6	92.0	14.9	15.9	6.1	4.5	11.9	46.7	4.2
4603	127	電子メールを利用する	X	8.4	39.7	51.9	91.6	13.8	16.1	6.3	6.4	14.7	42.7	4.2
4701	128	固定電話を利用する	X	13.8	41.3	44.9	86.2	49.8	19.5	6.2	3.9	8.1	12.6	2.3
4702	129	ファクシミリを利用する	X	19.7	43.1	37.2	80.3	63.0	19.1	5.5	2.9	3.6	5.9	1.8
4702関連	130	携帯電話・スマートフォンを利用する	X	7.9	37.7	54.5	92.1	8.4	10.9	3.7	2.4	4.0	70.7	4.9
4702関連	131	SNS(LINE、Messengerなど)を利用する	X	8.2	37.1	54.8	91.8	10.5	10.7	3.8	3.1	7.7	64.2	4.7
4801	132	新聞・雑誌・テレビ・ラジオから情報を収集する	X	7.6	47.1	45.2	92.4	19.6	17.3	7.9	6.8	12.9	35.6	3.8

第4章 ヒアリング調査の結果

外国人が日本語でできる必要があると考える生活上の行為と、日本語教育従事者が日本語でできる必要があると考える生活上の行為とが一致していない可能性もあることから、実態調査をより実態に即したものとするために団体ヒアリング調査を行った。本章では、ヒアリング調査の概要について述べた上で、調査結果を示す。

1. 調査概要

文化庁の地域日本語教育事業を活用する団体計6団体を対象に、ヒアリング調査を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、オンラインツールを用いて調査を行った。

(1) 調査概要

調査対象	文化庁の地域日本語教育事業を活用する団体
調査期間	令和3年3月15日～3月30日
実施数	6団体
ヒアリング実施先 ※〈 〉内は団体所在地	愛知県 〈愛知県〉
	NPO 多文化共生プロジェクト 〈福岡県〉
	学習院大学 わくわくとしま日本語教室 〈東京都〉
	公益財団法人 しまね国際センター 〈島根県〉
	公益社団法人 国際日本語普及協会(AJALT) 〈東京都〉
	日本語教育支援グループ ことのは 〈大阪府〉

(2) 調査内容

団体について	団体の活動概要
	学習者にはどのような人が多いか (日本語のレベル、職業、出身国、年齢層、来日理由など)
	標準的なカリキュラム案の活用状況について
「標準的なカリキュラム案」の「生活上の行為の事例」について	新たに盛り込むべきだと思う項目について
	活動や教材の中であまり取り上げることがない項目について
実態調査の結果について	「日本語でできなくてもいい」の回答割合が高い項目について、日本語教育に従事する立場での見解
	調査結果全体を見て、現場・体感との乖離について
その他	日本語教育従事者として感じる学習者の変化について

2. 調査結果

調査では、主に次のようなことに関する意見や考えが聞かれた。結果の詳細は、次ページ以降で示す。

- (1) 現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」について
- (2) 「標準的なカリキュラム案」の活用について
- (3) 教室や教材で取り上げるテーマについて
- (4) 各団体が独自に教材に追加している生活上の行為の事例について
- (5) 教材作成について
- (6) 実態調査で「日本語でできないが、このままでなくてもいい」という回答割合が相対的に多かった「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」に分類される「生活上の行為の事例」について
- (7) 外国人学習者について変化を感じる点について
- (8) 日本語教室の役割や今後の在り方について
- (9) 「標準的なカリキュラム案Can do(試案)」について
- (10) 標準的なカリキュラム案の方向性について
- (11) 標準的なカリキュラム案の構成について

(1) 現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」について

①「生活上の行為の事例」全体について

- 「生活上の行為の事例」は内容に違和感もなく、十分だと思っている。ただし、項目が多すぎて使いにくいという側面もある。生活上の行為には、「コア」になる部分と「広がり」の部分があると思うので、教室で実情に応じて必要なものを入れていけば良いように思う。学習する内容に優先順位を付けるとするならば、「標準的なカリキュラム案」の中から生理的欲求、安全の欲求、他者からの承認の欲求の順番で扱っていくのが良いのではないかと考えている。
- 日本語を使わないとできないことが「生活上の行為の事例」としてあると良い。
- 買い物も日本語があまりできなくてもできる。どこまでのレベルを求めるか。
- スマートフォン等があれば、生活上の課題に遭遇しても言語に頼らずに解決できることが多い。「生活上の行為の事例」は最低限日本語でできなければいけないことを絞ることができる。
- 「生活上の行為の事例」が数多く掲載されているが、全ての行為が会話として成立する必要はなく、情報提供ができれば良い項目もある。

②検討が必要な事項

- 「出産に伴う手続きや準備をする」といった自治体や病院、学校などに関係する言語行為は、どこまで日本語でできる必要があるか。やさしい日本語や多言語対応もある。どこまでのレベルを想定しているかにもよるが、どこまで「標準的なカリキュラム案」に入れていくべきか。自立した言語使用者を想定しているのであれば、B1 相当と思われるが、B1 では役所や病院での手続きは難しいように思う。病院での薬のやりとりなどはできると思うが、医療に関わる言語行為は難しく、検討が必要だと感じた。
- 例えば「子供の遊び場として公園を利用する」であれば、実際の場面では他の子供の親とのやりとりや、遊具の指示を読むなどの複数の行為があると想像される。他の場面でも似たような言語行為があるため、項目としてなくても良いように思うが、必要なスキルだとは思う。
- ファクシミリや固定電話は現在あまり使わない。もし、「生活上の行為の事例」を削除するというのであればこれらに関する行為ではないかと考えている。

③充実・修正が必要な項目

- 「人とかかわる」では「あいさつ」は取り上げられているが、あいさつの後の世間話などは取り上げられていない。人間関係の構築にもつながる日常の話題が項目としてあると良い。
- 「生活上の行為の事例」の大分類「社会の一員となる」に含まれる「地域社会に参加する」は、レベルが高く、難しい。A1、A2 相当の「地域社会に参加する」の事例があると良い。
- 「消費活動」の項目が多いのに対して、「人とかかわる」「社会の一員となる」の項目は、あいさつと聴解など最低限で終わっている印象を受けている。もう少し項目が充実し、人と人がつながっていけるようになると良い。
- 現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」は、課題があるから行動するというコンセプトになっているので、「自分について話す」等は不足している。
- JF 日本語教育スタンダードでは「人とかかわる」といった内容が多いので、もう少しバランス良く事例が収録されていると良い。
- 「食べられない食材を伝える」ということも重要だと考える。個人差はあるが、アレルギーだけでなく信仰上の理由から食べられないものもある。薬についても同様で、成分によっては飲めないものもある。
- 自分の好きなこと、故郷のまち、日常生活など「自分自身のことを伝える」という項目はあっても良いと思う。
- 地域では自転車保険の加入が義務化された。このような時事的なことを反映することも必要。
- マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになったので、そのようなことも入れた方が良いと思う。
- 電子決済、電子マネーに関する項目が必要になるのではないかと考えている。
- 生活に慣れてくると、スマートフォンを使ってメッセージを送り合うことも多いと思うので、スマートフォンでの日本語入力に関する事項があっても良い。
- 移動するときの道や場所の尋ね方。かつてなら地図を書いてもらう、という場面が想像されたが、現在ならスマートフォンで地図を見ながら、という場面の変化があると思われる。

④引き続き必要と思われる項目

- 技能実習生は通話プランを契約していないスマートフォンを持っていることが多く、110番など緊急時に電話をかけられない。そのため、周りの人に助けを求める必要がある。
- 災害が多い中で、災害・防災に関する情報が外国人に行き渡らないため、どうやって伝えていくか、自治体も苦慮している。
- 外国人の中には、場に応じた適切なあいさつや振る舞いなどを知りたいが、学習する機会がないままとなっている人もいる。あいさつに関わる項目は削らず残して欲しい。

(2)「標準的なカリキュラム案」の活用について

- 「標準的なカリキュラム案」はどれも必要なものばかりで、カリキュラム案に沿って教材を準備している。
- 「標準的なカリキュラム案」の情報量も多いため、教材作成のための話し合いの素材に使うのは難しい。「標準的なカリキュラム案」の考え方を共有し、自分たちの生活を振り返りながら生活に必要な言語行為を考えることが教材作成をする上でのポイントだと思う。教材作成をする際には、自分自身の生活上の行為を振り返りながら、その場面で必要な表現や文型を考えていくのが良いと思う。
- 教材を作成するときには、標準的なカリキュラム案に地域の実情を加味しつつ、JF 日本語教育スタンダードのレベル分けを参考にして作成した。
- 対話を通して学んでいくということを中心に教材を作成しているため、自己表現につながる生活上の行為の事例を抽出している。

(3)教室や教材で取り上げるテーマについて

①教室や教材で取り上げるテーマの選定について

- 教材や取り上げるテーマは、来日した外国人の行動の流れに沿って決めている。追加するものがある場合は、講師で相談して決める。「財布／スマホをなくしたため警察に行く」のように、講師が実際に体験して必要性を感じたため教材に追加したものもある。学習者のニーズを自由記述で聞くと収拾がつかないため、「標準的なカリキュラム案」の「生活上の行為の事例」の一覧から聞く。

②学習者の関心や学習意欲

- 「郵便局の利用」は教室で取り上げるが、システムの複雑さがあるからか、学習者の学習意欲はあまり高くない様子。同じシステムに関わるごみの出し方は、いきいきと取り組む。
- 外国人が教室で話すテーマとして選ぶものに、自分の国や文化のこと、これまでの仕事の経験、日本で働いている状況などがあつた。自分の困っていることについて話したいというときもある。

(4)各団体が独自に教材に追加している生活上の行為の事例について

①独自に追加している生活上の行為の事例全体について
<ul style="list-style-type: none">● 外国人の生活に限らず、日本人にとっても必要なことが追加項目となっているのではないか。生活の中で遭遇する課題は、外国人と日本語ネイティブとで違わないように思う。
②〈料理〉に関する教材について
<ul style="list-style-type: none">● 料理に関係することは、母国の料理を紹介するなどイベントの形で行う。異文化交流、相互理解になるもので、「社会の一員となる」につながるものである。● イベントとして料理をすることもあるので、そういう教室では料理を通して言葉を学ぶということを意識して教材を作っていると思われる。
③〈スマートフォン〉に関する教材について
<ul style="list-style-type: none">● 学習者とのやりとりの中では、スマートフォンで過去の写真等を振り返ることがある。
④その他
<ul style="list-style-type: none">● 日系ブラジル人は、生活が落ち着くと行動範囲が広がる。ペットや美容といった話題への関心も高まっているようだ。

(5)教材作成について

①教材のコンセプト
<ul style="list-style-type: none">● 教材を通して日本人と学習者が日本語を学んだり、やさしい日本語を使う練習をしたり、コミュニケーションを取りやすいものにしたいと考えている。何かあったときに身近な日本人に助けを求める際には、それ以前の関係づくりが大切なので、関係づくりにつながる教材づくりをしている。● 緊急性が高いものは必要だと考えるが、「買い物ができる」のように場面ごとの対応を身に付けるのではなく、「買い物について話す」というように自己表現を通して言語習得を図り、相互理解を実現することを意図する。教材は対話を進めるためのツールでもある。対話を通してお互いを知り、人間関係を構築することに役立つと考える。● 教材作成の際には、外国人が日本での生活で幸福になるために優先すべきことを考えた。ボランティアスタッフでも使えて、かつ学習者が日本社会につながるようなコミュニケーションの力を付けるための教材を作成するに至った。自分を語ることで地域につながっていくことを意図している。

②教材の内容

- 新しく作っている教材は自分のまちや国、自分の考え、好きなものといったリアルな情報を相手に伝え、相手もリアルな情報を話す、といった相互理解を中心に考えている。新しい教材のトライアル授業の様子を見てみると、「本当のことを話す」ということは学習者の話したいという意欲を引き出しやすいということが分かる。
- 「話す」以外のコミュニケーションとして、SNS やメッセージのやりとりを想定している。漢字を「書く」よりもスマートフォンに「入力する」という形式でまずは字に慣れ親しんでもらいたい。

(6)「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」に分類される「生活上の行為の事例」について

①「V 子育て・教育を行う」について

- 学習者の中には子育て中の方も、「V 子育て・教育を行う」は学習者全員に関わることではないため、教室では取り上げにくい。出産について医師と直接日本語で話がしたいという学習者もいたので、学習のニーズとしてはある。
- 学校では保護者の日本語教育が大きなテーマとなっている。入学時の手続きなどが多言語化されている地域がある一方で、散在地域にある学校の場合、多言語対応などはされずに書類やお便りが外国人に渡されている。保護者がお便りを理解できないと、子供の持ち物を用意することなどができず、子供が仲間外れにされる原因になることもある。「V 子育て・教育を行う」の分野では、子供の習い事も学習者にとって関心事としてある。
- 子供を持つ親を想定した教材もあり、学習者は熱心に取り組んでいる。
- 役所の手続きについてはサポートが得られると思うが、ママ友や学校の先生とは直接やりとりをしたいと思っている人は多いのではないかと思う。
- 教育や出産に関する情報は、日本語で理解しようとする不十分になる可能性があり、母語で説明が必要になる。進路や奨学金、母子手帳などは多言語対応している。「V 子育て・教育を行う」に分類される項目で「日本語でできないが、このままでできなくてもいい」の回答割合が高くなっているのは、日本語のハンデによって命や生活をリスクにさらすのは避けたいということの表れとも考えられる。
- 特別支援学級が何であるか分からないままに特別支援学級・特別支援学校に籍を置く外国人もいると考えられ、特別支援学級・特別支援学校についても、外国人にとって知る必要がある項目だと言える。

②「VI 働く」について

- 教室に来る人の中には既に職がある人もいるが、配偶者として滞在していて、子育てが終わって職を探す人もいる。
- 今後の社会の変化を考えたときに、「VI 働く」に分類される行為「労働者団体に入る」の必要性は高まるのではないかと。先を見据えて必要な項目を考えることが重要。

(7)外国人学習者について変化を感じる点について

- 初期日本語教育なので身近な話題が多いが、ライフステージに応じた日本語の必要性が10年前よりも高まっているように思う。「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」について、「標準的なカリキュラム案」では学習の要素を提示していないが、関わりがある人にとっては、生活の大きな部分を占める事項だと思う。
- 技能実習生でも来日前に日本語をしっかりと学習し、以前よりかなり高いレベルの日本語能力を身に付けてから来る人が増えた印象がある。そういう人たちへの対応が必要となっている。地域でも日本語能力試験のN1、N2を受験したいという技能実習生が増えている。
- 外国人同士でコミュニティができていたり、インターネット環境が整備されていたりするため、周囲との日本人との交流が少ない。日本語を勉強しなくても生活できる状態にある。

(8)日本語教室の役割や今後の在り方について

①地域日本語教室の役割

- コロナ禍で活動がオンラインになり、来日間もない外国人がコミュニティに入れない、ということがあった。活動・教室はコミュニティとしても大切。
- 日本語教室は、日本語を教えるだけではなく、外国人コミュニティにつながる情報提供の場としての役割も担っている。教室の中で人間関係ができてくると、助けを求めることができるようになる。それが情報提供や、さらなる支援につながっていく。

②地域日本語教室の今後

- 今回コロナ禍でオンラインでの教室が増え、これから一つのツールになっていくのではないかと感じている。教室から遠い人や夜の時間帯などに実施しやすくなるため、日常が戻ってきたときにも選択肢としてある良い。ただ、オンラインでも初期レベルの人へのサポートや、機器の設定などテクニカルなサポートが必要になるという課題はある。

(9)「標準的なカリキュラム案 Can do(試案)」について

- Can do のように「できる」ことに軸を置いた活動を組み立てると、生活における言語行動をできるようになることに重きを置きすぎる傾向にある。そのため、文法学習や対話能力育成とのバランスを取ることが難しい。しかし、生活課題を解決するためには Can do は必要である。自分で語ることと Can do との両輪が必要である。

(10)標準的なカリキュラム案の方向性について

- 役所では多言語対応や、やさしい日本語などのサポートが充実してきている。こうしたサポートへのアクセスをよくするために、一定の日本語能力を身に付けてもらうことが大切。
- 学習者には自分のことを語りたい、人間関係を構築したいという思いがある。地域の日本語教育活動の目的を考えると、自分の居場所づくりや人間関係の構築という点から言語活動をした方が良いと思う。人と人との関係性が作れば、その中で日本語を学んでいくことも可能になる。標準的なカリキュラム案では生活課題を解決することと同時にそういった日本語能力習得の重要性も示されると良い。
- 「生活者としての外国人」という視点での日本語教育が提案されていることには、大きな意味がある。現行の「標準的なカリキュラム案」は最低限の生活を営むための日本語能力の習得だと思うが、最低限の日本語能力だけでなく、もう一步踏み込んだ外国人が地域に参画するにあたって必要な日本語教育の内容を、今後の「標準的なカリキュラム案」では示していくことが大切なのではないか。

(11)標準的なカリキュラム案の構成について

- 現行の「標準的なカリキュラム案」は、会話例、文型、語彙も掲載されていて使いやすい。ただ、活動場面で整理されているので、教材を組み立てる側としては、機能面でも確認できる構成だとなお良い。
- 生活上の行為の事例を用途によってカテゴライズ(生活課題を達成するための日本語教育、対話能力育成のための日本語教育など)してもいいのではないか。
- 生活上の行為の事例は分量としては A4 で2ページくらいにまとめられていて、学習者がトピックを選ぶときに選びやすいようになっていると扱いやすい。

第5章 B1 Can do 素材の作成

「日本語教育の参照枠 一次報告」に示される「標準的なカリキュラム案 Can do(試案)」は「標準的なカリキュラム案」を基に作成されているため、A1・A2レベルの Can do が中心となっている。

そのため、「標準的なカリキュラム案」の改定にあたり、ワーキンググループを結成してB1 Can do作成のための素材の作成を行った。

1. B1 Can do 素材作成のプロセス

(1)ワーキンググループの結成

文化庁が行う各事業や、「生活者としての外国人」に対する日本語教育に関わったことがある日本語教師4人を選定し、ワーキンググループを結成した。

(2)B1 Can do 素材作成作業の手順

①レベル付け及び B1 Can do 素材作成

- 現行の「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の下位項目について、ワーキンググループメンバーで分担し、下記の手順でレベル付けと素材の作成を行った。
- レベル付けとB1 Can do素材作成にあたり、打合せの場を設けて「日本語教育参照枠」一次報告で示している「全体的な尺度」、「言語活動別の熟達度」の各レベルの言語能力記述文や CEFR Can do、「標準的なカリキュラム案 Can do (試案)」、JF 日本語教育スタンダードにおける JF Can-do 及び JF 生活日本語 Can-do のレベルと言語活動ごとの書きぶりを確認するなどワーキンググループメンバーのレベル感を揃えた。

【レベル付け・Can do 素材作成の具体的な手順】

- ◆ 「標準的なカリキュラム案」に収録されている「生活上の行為の事例」の下位項目について、A1からB2までのレベル付けを行った。
- ◆ レベル付けでB1とした項目を優先し、Can do の素材作成を行う。
B1 Can do素材作成を終えたら、B2レベル、A2レベルの順に作成作業を行う。
- ◆ 既存の Can do に類似するものが無いか調べ、参考にした Can do を記録する。

②B1 Can do 素材のレベル・書きぶりの調整

- ワーキンググループメンバーが作成したB1 Can do素材を取り上げながら、書きぶりやレベル感の調整を行った。

③B1 Can do 素材の相互チェック

- ワーキンググループメンバーが作成したB1 Can do素材を一覧にし、下記の手順に則って相互チェック作業を行った。

【相互チェックの具体的な手順】

- ◆ 小分類、事例1・2の内容と Can do の内容に齟齬がないか。
- ◆ 小分類ごとに並べて眺めたときに、内容的な重複はないか。
- ◆ すでにある Can do と酷似したものがないか。
- ◆ レベルは妥当か
- ◆ レベルごとの書きぶりは問題ないか。(原則 JF Can-do に合わせる)

1. 実態調査

(1) 実態調査調査票

本紙はウェブ調査の内容を確認するための参考調査票です。

回答はウェブのみとなりますので、ご注意ください。

「生活者としての外国人」に対する標準的なカリキュラム案改定のための 「生活上の行為の事例」についてのアンケートご協力をお願い

文化庁では、「生活者としての外国人」のための日本語教育の参考として、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」を公開しています。現在、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会において、この「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」の改定について議論されています。本調査は、改定に関連する調査として実施するものです。

この調査では、生活上の行為の各事例に対して、生活のなかで遭遇する頻度と、日本語でできるようになりたいかの希望を伺い、各事例についての実態を把握することを目的として行います。

この調査の結果を参考にして、今後「生活者としての外国人」に対する日本語教育の内容について検討を行いますので、現状に即してご回答ください。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【回答期日】

・2021年2月23日まで

【調査結果の扱いについて】

・調査結果は、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」の改定の検討のためだけに使用します。

・調査結果は統計処理をして公表しますので、一人ひとりの回答を公表することはありません。また、個人が特定されるような形で公表することはありません。

【お問い合わせ】

調査機関：株式会社47ブランディング(文化庁国語課がアンケートを委託している会社です)

担当者：多賀屋(Tagaya)

連絡先：cando@47bd.co.jp

基本属性

F1 年齢	10代/20代/30代/40代/50代/60代/70歳以上
F2 性別	男性/女性/その他/回答しない
F3 単身世帯	はい/いいえ
F4 15歳以下の子どもの有無	はい/いいえ
F5 出身国	中国/韓国/ベトナム/フィリピン/ポルトガル/ブラジル/ネパール/ インド/インドネシア/英国/米国/オーストラリア/カナダ/タイ/ミヤ ンマー/マレーシア/スペイン/その他()
F6 滞日年数	「 」年
F7 在留資格	技術・人文知識・国際業務/高度専門職/技能/特定技能/技能実習 /留学/家族滞在/特定活動/永住者/日本人の配偶者等/永住者 の配偶者等/定住者/その他()
F8 現在の職業	事務職/営業職/製造業, 建設業/農林水産業/自営業(会社, レスト ラン等)/サービス業(飲食店員, 小売り店員, 歌手, ダンサー等)/専門 職(教師, 通訳, 医師, 看護・介護, 弁護士, 宗教関係, IT 関係等)/主婦 /学生/無職/その他()
F9 居住地	北海道/青森県/岩手県/宮城県/秋田県/山形県/福島県/茨城 県/栃木県/群馬県/埼玉県/千葉県/東京都/神奈川県/新潟県 /富山県/石川県/福井県/山梨県/長野県/岐阜県/静岡県/愛 知県/三重県/滋賀県/京都府/大阪府/兵庫県/奈良県/和歌山 県/鳥取県/島根県/岡山県/広島県/山口県/徳島県/香川県/ 愛媛県/高知県/福岡県/佐賀県/長崎県/熊本県/大分県/宮崎 県/鹿児島県/沖縄県
F10 母語	中国語/韓国語/ベトナム語/フィリピン語/ポルトガル語/ネパール 語/インドネシア語/英語/タイ語/ミャンマー語/スペイン語/その他 ()
F11 日常生活に困らない程度にで きる言語	中国語/韓国語/ベトナム語/フィリピン語/ポルトガル語/ネパール 語/インドネシア語/英語/タイ語/ミャンマー語/スペイン語/その他 ()
F12 家庭内での言語	中国語/韓国語/ベトナム語/フィリピン語/ポルトガル語/ネパール 語/インドネシア語/英語/タイ語/ミャンマー語/スペイン語/その他 ()
F13 日本語の学習年数	「 」年

F14 日本語における「聞く」のレベル	全くできない/日常的な挨拶が理解できる/自己紹介や簡単な表現が理解できる/身近な話題の話が理解できる/興味のある分野の話なら理解できる/どんな分野の話でも理解できる
F15 日本語における「読む」のレベル	全くできない/ひらがなとカタカナが読める/やさしい漢字が読める/身近な文章が読める/興味のある分野の文章なら読める/どんな分野の文章でも読める
F16 日本語における「一方的に伝える」のレベル	全くできない/日常的な挨拶言葉を話せる/自己紹介ならできる。簡単な表現を使って、伝えることができる/身近な話題について伝えることができる/興味のある分野なら伝えることができる/どんな分野の内容でも伝えることができる
F17 日本語における「話す(やりとり)」のレベル	全くできない/日常的な挨拶を交わせる/自己紹介ならできる。簡単な表現を使って、話すことができる/身近な話題について話すことができる/興味のある分野なら話すことができる/どんな分野の内容でも話すことができる
F18 日本語における「書く」のレベル	全くできない/ひらがなとカタカナが書ける/やさしい漢字が書ける/身近な文章が書ける/興味のある分野の文章なら書ける/どんな分野の文章でも書ける
F19~21 あなたが受けたことがある試験や検定について、その点数や級など成績について教えてください。	
①日本語能力試験(JLPT)	N1/N2/N3/N4/N5/受けたことがない
②日本語 NAT-TEST	1級/2級/3級/4級/5級/受けたことがない
③J.TEST 実用日本語検定	A/B/C/D/E/F/G/受けたことがない
F22 ①~③以外で受けたことがある試験や検定の名称と、その点数や級などの成績をお書きください。	自由記述

I 健康・安全に暮らす(Q1)

		【設問1】 日本語に限らず、生活のなかで遭遇する頻度はどれくらいですか。 (それぞれ1つだけ○をつける)						【設問2】 日本語でできますか。 できない場合、できるようになりたいですか。 (それぞれ1つだけ○をつける)		
		全くない	年に数回	月に1回	週に1回	週に数回	毎日	まできなくてもいい 日本語でできないが、このま	ようになりたい 日本語でできないが、できる	日本語でできる
1	症状に合わせて、医療機関を探す	1	2	3	4	5	6	1	2	3
2	問診表に記入する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
3	医師の説明・指示を理解し、応答する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
4	処方せんを持って薬局へ行く	1	2	3	4	5	6	1	2	3
5	薬局・薬店を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
6	薬の説明を理解し、適切に利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
7	体調管理や健康診断の受診などで病気を予防する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
8	食品保存の注意書きを理解するなどして、衛生管理をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
9	立入禁止等の注意書き等を理解し事故を回避する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
10	施錠など防犯に関する内容を理解し、防犯対策を行う	1	2	3	4	5	6	1	2	3
11	事件・事故があった際に周りの人に助けを求める	1	2	3	4	5	6	1	2	3
12	避難場所・方法を確認する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
13	災害発生時に身を守るために行動する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

II 住居を確保・維持する(Q2)

14	住居を探す	1	2	3	4	5	6	1	2	3
15	住まいに関する契約をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
16	引っ越しをする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
17	電気・ガス・水道等の使用を開始する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

18	電気・ガス・水道等の使用方法を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
19	電気・ガス・水道等の料金を支払う	1	2	3	4	5	6	1	2	3

Ⅲ 消費活動を行う(Q3)

20	店員がいる店（スーパー、コンビニなど）で、買い物をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
21	飲食店を利用し、注文や支払いなどをする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
22	各種サービス（コンビニ ATM、クリーニング店、宅急便、出前）を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
23	商品情報（素材、注意書き等）について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
24	購入額を確認・計算する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
25	クレジットカード、ポイントカードなどを利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
26	口座を開設する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
27	金融機関の各種サービスを利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
28	A T Mを利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

Ⅳ 目的地に移動する(Q4)

29	公共交通機関の時刻表を確認する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
30	公共交通機関の路線図を確認する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
31	公共交通機関での行き先・停留所を確認する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
32	公共交通機関で運賃を支払う・切符を購入する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
33	タクシーを呼ぶ	1	2	3	4	5	6	1	2	3
34	タクシーに乗って行き先を指示する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
35	タクシーの運賃を支払う	1	2	3	4	5	6	1	2	3
36	住所・番地を確認する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
37	地図を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
38	交通標識を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
39	道を聞く	1	2	3	4	5	6	1	2	3
40	自転車の交通ルールを理解し遵守する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
41	駐輪場を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

42	施錠するなど自転車の盗難防止をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
43	運転免許の手続等をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
44	車・オートバイ等を運転する際に道路交通法を理解し遵守する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

V 子育て・教育を行う(Q5)

45	出産前の健診を受ける	1	2	3	4	5	6	1	2	3
46	母子健康手帳の使い方や内容を理解し、母子健康手帳をもらう	1	2	3	4	5	6	1	2	3
47	出産に伴う手続きや準備をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
48	乳幼児健診を受ける	1	2	3	4	5	6	1	2	3
49	子供の身長・体重・身体発達といった子育てに関する情報を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
50	子供の健康を管理(食事, 歯磨き, 睡眠等)する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
51	伝染病の予防接種を受ける	1	2	3	4	5	6	1	2	3
52	健康診断の通知等について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
53	地域の育児サービスを利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
54	子供の遊び場として公園を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
55	託児施設・保育施設を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
56	就学に関する手続を行う	1	2	3	4	5	6	1	2	3
57	学校行事に参加する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
58	学費などを理解し, 納入する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
59	子どもの学校生活について先生に相談する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
60	進路相談を行う	1	2	3	4	5	6	1	2	3
61	子供の障害の特徴等を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
62	子供を特別支援学校・学級への入学手続きをする	1	2	3	4	5	6	1	2	3

VI 働く(Q6)

63	就職のための情報収集をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
64	求人に応募する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
65	雇用契約を交わす	1	2	3	4	5	6	1	2	3

66	労働条件について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
67	給与明細について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
68	労働者団体（組合等）へ加入する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
69	仕事の指示・マニュアル等を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
70	安全上の標示等を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
71	危険・事故・けが・損傷について報告する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
72	同僚・上司・部下とやりとりする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
73	各種通信（メモ、メッセージ、電子メール）で仕事上のやりとりする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
74	仕事に関する文書（発表、通知）について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
75	取引先や顧客等と業務に関する情報をやりとりする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
76	取引先や顧客等に進捗（しんちよく）状況・問題を報告する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
77	指示された業務を遂行する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
78	人事考課の面談を受ける	1	2	3	4	5	6	1	2	3
79	雇用の契約更新の手続きを行う	1	2	3	4	5	6	1	2	3
80	職場でアイデアや見解を効果的に発表する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
81	就業上必要な能力を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
82	事務機器を活用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
83	職場であいさつする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
84	手助けに感謝する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
85	職場で誘う、誘われる	1	2	3	4	5	6	1	2	3

VII 人とかわる(Q7)

86	人付き合いの中であいさつをする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
87	自己紹介をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
88	日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのっとって行動する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
89	異文化コミュニケーションについて理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
90	異文化摩擦事例について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

91	異文化における多様なあいさつがあることを理解し、対応する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
----	------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

Ⅷ 社会の一員となる(Q8)

92	各種手続（転入・転出・外国人登録等）をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
93	各種税金（所得税，住民税等）を支払う	1	2	3	4	5	6	1	2	3
94	確定申告・還付申告を行う	1	2	3	4	5	6	1	2	3
95	ゴミ出し（ゴミの分け方）について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
96	公共マナー（ポイ捨て禁止，歩きたばこ禁止等）を理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
97	自治会行事に参加・協力する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
98	地方参政権，選挙等について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
99	各種手当（育児手当，扶養手当，介護申請等）を申請する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
100	福祉サービス，関係団体とのネットワーク，相談窓口などの支援を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
101	国民健康保険・国民年金等に加入する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
102	各種補助金を申請する・受給する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
103	医療費補助を請求する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

Ⅸ 自身を豊かにする(Q9)

104	生活設計をするにあたっての将来目標を設定する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
105	各種資格等に関する情報を収集し，理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
106	学習機会について情報収集し，利用方法などを理解して利用する。	1	2	3	4	5	6	1	2	3
107	各種資格を取得する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
108	学習目標を設定する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
109	学習の自己管理をする	1	2	3	4	5	6	1	2	3
110	日本語以外の学習をする際に，辞書や教材を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
111	日本語以外の学習をする際に，助言を求める	1	2	3	4	5	6	1	2	3
112	日常生活の中で学習する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
113	コンピューターを活用し自学自習する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
114	日本語を学習する際に，辞書や教材を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

115	日本語を学習する際に、助言を求める	1	2	3	4	5	6	1	2	3
116	日常生活の中で日本語を学習する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
117	日本の共通言語、方言、敬語について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
118	日本の社会問題について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
119	日本の教育事情、学校制度について理解する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
120	外出や余暇の計画を立てる	1	2	3	4	5	6	1	2	3
121	情報（イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等）を収集する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
122	地域の公共施設（図書館、スポーツセンター等）を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
122	地域の公共施設（図書館、スポーツセンター等）を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

X 情報を収集・発信する(Q10)

123	郵便を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
124	宅配便を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
125	インターネットプロバイダーと契約する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
126	インターネットで検索する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
127	電子メールを利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
128	固定電話を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
129	ファクシミリを利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
130	携帯電話・スマートフォンを利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
131	SNS（LINE, Messenger など）を利用する	1	2	3	4	5	6	1	2	3
132	新聞・雑誌・テレビ・ラジオから情報を収集する	1	2	3	4	5	6	1	2	3

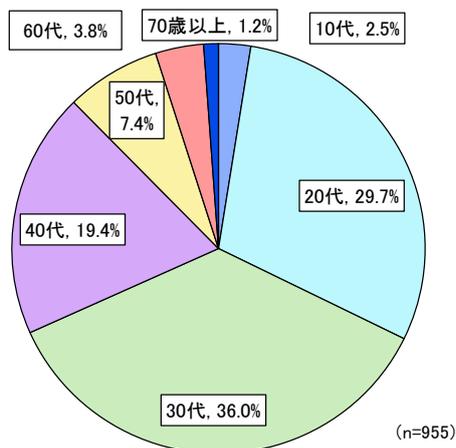
Q11 日本に来て、生活するうえで感じる課題や不安などあれば教えてください。

(2)回答者属性

F1 年齢

年齢は、30代が36.0%と最も多く、次いで20代(29.7%)、40代(19.4%)となっている。20代から40代までで全体の8割以上を占めている。

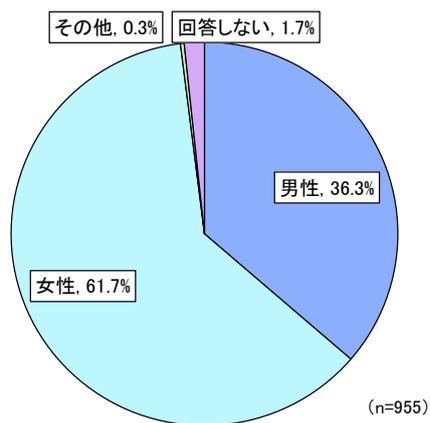
図3 年齢



F2 性別

性別は、男性が36.3%、女性が61.7%となっている。

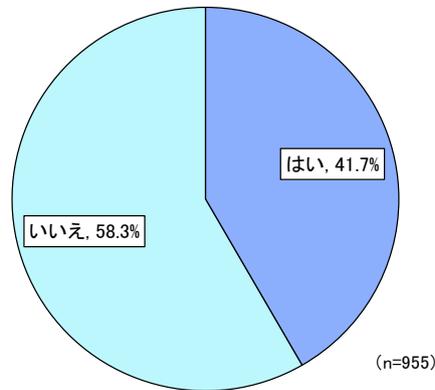
図4 性別



F3 単身世帯か否か

単身世帯であるかどうかについては、単身世帯の人が41.7%、単身世帯ではない人が58.3%となっている。

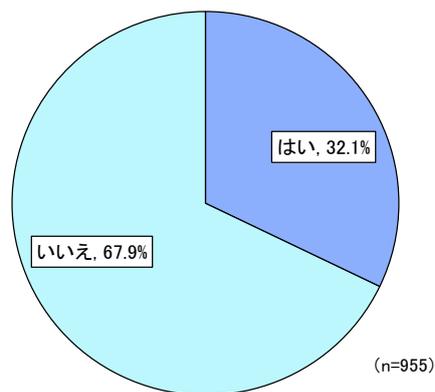
図5 単身世帯か否か



F4 15歳以下の子供の有無

15歳以下の子供の有無については、15歳以下の子供がいる人が32.1%、いない人が67.9%となっている。

図6 15歳以下の子供の有無



F5 出身国

出身国では、中国が28.8%と最も多く、次いでベトナム(12.5%)、ブラジル(7.1%)となっている。

表7 出身国

No.	選択肢	n	%
1	中国	275	28.8
2	韓国	42	4.4
3	ベトナム	119	12.5
4	フィリピン	60	6.3
5	ポルトガル	0	0.0
6	ブラジル	68	7.1
7	ネパール	18	1.9
8	インド	8	0.8
9	インドネシア	48	5.0
10	英国	23	2.4
11	米国	55	5.8
12	オーストラリア	13	1.4
13	カナダ	11	1.2
14	タイ	49	5.1
15	ミャンマー	8	0.8
16	マレーシア	7	0.7
17	スペイン	6	0.6
18	その他	145	15.2
	全体	955	100.0

「18 その他」の内訳	
国名	n
ペルー	20
台湾	17
メキシコ	9
ロシア	8
フランス	7
日本	7
スリランカ	6
バングラデシュ	5
モンゴル	5
ニュージーランド	4
パキスタン	4
香港	4
アイルランド	3
イラン	3
コロンビア	3
上記以外	40

F6 滞日年数

滞日年数は2年が18.5%と最も多く、次いで1年(15.8%)、3年(15.3%)となっている。滞日年数3年以下が約半分を占めている。

表8 滞日年数

滞日年数	n	%
0年	12	1.3
1年	151	15.8
2年	177	18.5
3年	146	15.3
4年	86	9.0
5年	64	6.7
6年	31	3.2
7年	24	2.5
8年	30	3.1
9年	12	1.3
10年	37	3.9
11年～15年	49	5.1
16年～20年	50	5.2
21年～30年	72	7.5
31年以上	14	1.5
全体	955	100.0

F7 在留資格

在留資格は、永住者が16.0%と最も多く、次いで技術・人文知識・国際業務(15.0%)、日本人の配偶者等(13.5%)となっている。

表9 在留資格

No.	選択肢	n	%
1	技術・人文知識・国際業務	143	15.0
2	高度専門職	35	3.7
3	技能	8	0.8
4	特定技能	17	1.8
5	技能実習	91	9.5
6	留学	125	13.1
7	家族滞在	94	9.8
8	特定活動	12	1.3
9	永住者	153	16.0
10	日本人の配偶者等	129	13.5
11	永住者の配偶者等	40	4.2
12	定住者	36	3.8
13	その他	72	7.5
	全体	955	100.0

F8 現在の職業

現在の職業は、専門職(教師、通訳、医師、看護・介護、弁護士、宗教関係、IT関係等)が18.6%、次いで主婦(17.6%)、製造業、建設業(12.9%)となっている。

表10 現在の職業

No.	選択肢	n	%
1	事務職	104	10.9
2	営業職	14	1.5
3	製造業、建設業	123	12.9
4	農林水産業	26	2.7
5	自営業(会社、レストラン等)	45	4.7
6	サービス業(飲食店員、小売り店員、歌手、ダンサー等)	32	3.4
7	専門職(教師、通訳、医師、看護・介護、弁護士、宗教関係、IT関係等)	178	18.6
8	主婦	168	17.6
9	学生	136	14.2
10	無職	42	4.4
11	その他	87	9.1
	全体	955	100.0

F9 居住地

居住地は、東京都が11.4%と最も多く、次いで神奈川県(7.1%)、埼玉県(6.9%)となっている。

表 11 居住地

No.	選択肢	n	%	No.	選択肢	n	%
1	北海道	5	0.5	25	滋賀県	6	0.6
2	青森県	1	0.1	26	京都府	62	6.5
3	岩手県	9	0.9	27	大阪府	25	2.6
4	宮城県	3	0.3	28	兵庫県	47	4.9
5	秋田県	9	0.9	29	奈良県	0	0.0
6	山形県	27	2.8	30	和歌山県	35	3.7
7	福島県	9	0.9	31	鳥取県	0	0.0
8	茨城県	39	4.1	32	島根県	33	3.5
9	栃木県	15	1.6	33	岡山県	5	0.5
10	群馬県	12	1.3	34	広島県	16	1.7
11	埼玉県	66	6.9	35	山口県	48	5.0
12	千葉県	43	4.5	36	徳島県	5	0.5
13	東京都	109	11.4	37	香川県	6	0.6
14	神奈川県	68	7.1	38	愛媛県	4	0.4
15	新潟県	9	0.9	39	高知県	1	0.1
16	富山県	1	0.1	40	福岡県	55	5.8
17	石川県	17	1.8	41	佐賀県	17	1.8
18	福井県	8	0.8	42	長崎県	1	0.1
19	山梨県	7	0.7	43	熊本県	3	0.3
20	長野県	26	2.7	44	大分県	2	0.2
21	岐阜県	1	0.1	45	宮崎県	13	1.4
22	静岡県	47	4.9	46	鹿児島県	5	0.5
23	愛知県	22	2.3	47	沖縄県	0	0.0
24	三重県	13	1.4		全体	955	100.0

F10 母語

母語は、中国が31.4%と最も多く、次いでベトナム語(12.7%)、英語(11.9%)となっている。

表 12 母語

No.	選択肢	n	%
1	中国語	300	31.4
2	韓国語	43	4.5
3	ベトナム語	121	12.7
4	フィリピン語	56	5.9
5	ポルトガル語	71	7.4
6	ネパール語	21	2.2
7	インドネシア語	47	4.9
8	英語	114	11.9
9	タイ語	48	5.0
10	ミャンマー語	9	0.9
11	スペイン語	44	4.6
12	その他	81	8.5
	全体	955	100.0

「12 その他」の内訳	
言語	n
フランス語	9
ロシア語	9
モンゴル語	6
アラビア語	5
シンハラ語	4
ウルドゥー語	3
タミル語	3
バングラ語	3
ペルシア語	3
ベンガル語	3
広東語	3
上記以外	30

F11 日常生活に困らない程度にできる言語(複数回答可)

日常生活に困らない程度にできる言語は、英語が42.7%と最も多く、次いで中国語(31.5%)、ベトナム語(11.2%)となっている。

表 13 日常生活に困らない程度にできる言語

No.	選択肢	n	%
1	中国語	301	31.5
2	韓国語	43	4.5
3	ベトナム語	107	11.2
4	フィリピン語	48	5.0
5	ポルトガル語	77	8.1
6	ネパール語	22	2.3
7	インドネシア語	45	4.7
8	英語	408	42.7
9	タイ語	46	4.8
10	ミャンマー語	9	0.9
11	スペイン語	62	6.5
12	その他	203	21.3
	全体	1371	

「12 その他」の内訳	
言語	n
日本語	148
フランス語	6
シンハラ語	4
ヒンディー語	4
アラビア語	3
ロシア語	3
ドイツ語	2
マオリ語	2
マレー語	2
モンゴル語	2
広東語	2
上記以外	25

F12 家庭内での言語(複数回答可)

家庭内での言語は、中国語が28.2%と最も多く、次いで英語(22.3%)、ベトナム語(11.9%)となっている。

表 14 家庭内での言語

No.	選択肢	n	%
1	中国語	269	28.2
2	韓国語	38	4.0
3	ベトナム語	114	11.9
4	フィリピン語	38	4.0
5	ポルトガル語	71	7.4
6	ネパール語	20	2.1
7	インドネシア語	46	4.8
8	英語	213	22.3
9	タイ語	29	3.0
10	ミャンマー語	8	0.8
11	スペイン語	42	4.4
12	その他	238	24.9
	全体	1126	

「12 その他」の内訳

言語	n
日本語	164
フランス語	5
シンハラ語	5
モンゴル語	5
ロシア語	4
アラビア語	3
タミル語	3
ドイツ語	3
ペルシア語	3
広東語	3
バングラ語	2
マレー語	2
ウルドゥー語	2
ハンガリー語	2
ベンガル語	2
上記以外	30

F13 日本語の学習年数

日本語の学習年数は、1年が27.1%と最も多く、次いで2年(18.1%)、3年(11.8%)となっている。日本語学習年数が3年以下の人が6割以上を占めている。

表 15 日本語の学習年数

日本語の学習年数	n	%
0年	72	7.5
1年	259	27.1
2年	173	18.1
3年	113	11.8
4年	72	7.5
5年	71	7.4
6年	33	3.5
7年	27	2.8
8年	12	1.3
9年	12	1.3
10年	31	3.2
11年～15年	33	3.5
16年～20年	25	2.6
21年～30年	18	1.9
31年以上	4	0.4
全体	955	100.0

F14 日本語における「聞く」のレベル

日本語における「聞く」のレベルは、「身近な話題の話が理解できる」が34.5%と最も多く、次いで「自己紹介や簡単な表現が理解できる」(24.9%)、「興味のある分野の話なら理解できる」(18.0%)となっている。

表 16 日本語における「聞く」のレベル

No.	選択肢	n	%
1	全くできない	14	1.5
2	日常的な挨拶が理解できる	84	8.8
3	自己紹介や簡単な表現が理解できる	238	24.9
4	身近な話題の話が理解できる	329	34.5
5	興味のある分野の話なら理解できる	172	18.0
6	どんな分野の話でも理解できる	118	12.4
	全体	955	100.0

F15 日本語における「読む」のレベル

日本語における「読む」のレベルは、「身近な文章が読める」が27.0%と最も多く、次いで「ひらがなとカタカナが読める」(21.8%)、「興味のある分野の文章なら読める」(20.0%)となっている。

表 17 日本語における「読む」のレベル

No.	選択肢	n	%
1	全くできない	31	3.2
2	ひらがなとカタカナが読める	208	21.8
3	やさしい漢字が読める	166	17.4
4	身近な文章が読める	258	27.0
5	興味のある分野の文章なら読める	191	20.0
6	どんな分野の文章でも読める	101	10.6
	全体	955	100.0

F16 日本語における「話す(発表)」のレベル

日本語における「話す(発表)」のレベルは、「自己紹介ならできる。簡単な表現を使って、伝えることができる」が34.6%と最も多く、次いで「身近な話題について伝えることができる」(25.8%)、「興味のある分野なら伝えることができる」(16.8%)となっている。

表 18 日本語における「話す(発表)」のレベル

No.	選択肢	n	%
1	全くできない	22	2.3
2	日常的な挨拶言葉を話せる	90	9.4
3	自己紹介ならできる。簡単な表現を使って、伝えることができる	330	34.6
4	身近な話題について伝えることができる	246	25.8
5	興味のある分野なら伝えることができる	160	16.8
6	どんな分野の内容でも伝えることができる	107	11.2
	全体	955	100.0

F17 日本語における「話す(やりとり)」のレベル

日本語における「話す(やりとり)」のレベルは、「自己紹介ならできる。簡単な表現を使って、話すことができる」が30.5%と最も多く、次いで「身近な話題について話すことができる」(27.7%)、「興味のある分野なら話すことができる」(15.7%)となっている。

表 19 日本語における「話す(やりとり)」のレベル

No.	選択肢	n	%
1	全くできない	24	2.5
2	日常的な挨拶を交わせる	115	12.0
3	自己紹介ならできる。簡単な表現を使って、話すことができる	291	30.5
4	身近な話題について話すことができる	265	27.7
5	興味のある分野なら話すことができる	150	15.7
6	どんな分野の内容でも話すことができる	110	11.5
	全体	955	100.0

F18 日本語における「書く」のレベル

日本語における「書く」のレベルは、「身近な文章が書ける」が28.7%と最も多く、次いで「ひらがなとカタカナが書ける」(24.9%)、「やさしい漢字が書ける」(22.0%)となっている。

表 20 日本語における「書く」のレベル

No.	選択肢	n	%
1	全くできない	46	4.8
2	ひらがなとカタカナが書ける	238	24.9
3	やさしい漢字が書ける	210	22.0
4	身近な文章が書ける	274	28.7
5	興味のある分野の文章なら書ける	131	13.7
6	どんな分野の文章でも書ける	56	5.9
	全体	955	100.0

F19 日本語能力試験(JLPT)について

日本語能力試験(JLPT)については、「受けたことがない」が49.1%と最も多く、次いで「N1」(14.3%)、「N2」(14.2%)となっている。

表 21 日本語能力試験(JLPT)について

No.	選択肢	n	%
1	N1	137	14.3
2	N2	136	14.2
3	N3	113	11.8
4	N4	55	5.8
5	N5	45	4.7
6	受けたことがない	469	49.1
	全体	955	100.0

F20 日本語 NAT-TEST について

日本語NAT-TESTについては、「受けたことがない」が92.1%と最も多く、次いで「3級」(1.9%)、「1級」(1.6%)、「4級」(1.6%)となっている。

表 22 日本語 NAT-TEST について

No.	選択肢	n	%
1	1 級	15	1.6
2	2 級	13	1.4
3	3 級	18	1.9
4	4 級	15	1.6
5	5 級	14	1.5
6	受けたことがない	880	92.1
	全体	955	100.0

F21 J.TEST 実用日本語検定について

J.TEST実用日本語検定については、「受けたことがない」が91.6%と最も多く、次いで「B」(2.0%)、「D」(1.9%)となっている。

表 23 J.TEST 実用日本語検定について

No.	選択肢	n	%
1	A	14	1.5
2	B	19	2.0
3	C	14	1.5
4	D	18	1.9
5	E	9	0.9
6	F	4	0.4
7	G	2	0.2
8	受けたことがない	875	91.6
	全体	955	100.0

F22 F20～F21以外で受けたことがある試験や検定

F20～F21 以外で受けたことがある試験や検定は、「ビジネス日本語能力テスト(BJT)」が5件と最も多くなっている。

表 24 F20～F21以外で受けたことがある試験や検定

検定の名称	件数
ビジネス日本語能力テスト (BJT)	5
日本語能力試験 (JPT)	2
漢字検定	1
その他	111

(3)全体集計の結果(遭遇頻度別)

各調査項目への遭遇頻度について、回答を点数化し、各項目の頻度の平均点を算出した。頻度の平均点に着目し、4.0以上、3.0以上4.0未満、2.0以上3.0未満、2.0未満の4段階に生活上の行為の事例を整理した。

表 25 大分類ごとに見る頻度の平均点の分布

大分類	項目数	頻度の平均点			
		2.0未満	2.0以上 3.0未満	3.0以上 4.0未満	4.0以上
I 健康・安全に暮らす	13	5	5	3	0
II 住居を確保・維持する	6	3	3	0	0
III 消費活動を行う	9	0	2	5	2
IV 目的地に移動する	16	3	4	9	0
V 子育て・教育を行う	18	18	0	0	0
VI 働く	23	7	9	7	0
VII 人とかかわる	6	0	0	4	2
VIII 社会の一員となる	12	8	2	1	1
IX 自身を豊かにする	19	0	8	10	1
X 情報を収集・発信する	10	2	3	1	4
合計	132	46	36	40	10

①頻度の平均点が4.0以上の項目

頻度の平均点が4.0以上となっている10項目のうち、「X 情報を収集・発信する」のスマートフォンやインターネットに関する項目が4項目を占めている。また、他の生活上の行為の事例は、日常生活を送る上で必要な買い物やあいさつ、マナーに関する項目となっている。

頻度の平均点が4.0以上となっている項目は、「日本語でできる」の回答割合がおおむね50%以上となっている。

表 26 頻度の平均点が4.0以上の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままできなくてもいい(%)	日本語でできないが、できるようになりたい(%)	日本語でできる(%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい(%)	遭遇頻度の平均点
4702関連	130	携帯電話・スマートフォンを利用する	X	7.9	37.7	54.5	92.1	4.9
4702関連	131	SNS(LINE、Messengerなど)を利用する	X	8.2	37.1	54.8	91.8	4.7
3101	86	人付き合いの中であいさつをする	VII	3.5	26.9	69.6	96.5	4.5
0801	20	店員がいる店(スーパー、コンビニなど)で、買い物をする	III	4.4	28.0	67.6	95.6	4.3
4202	116	日常生活の中で日本語を学習する	IX	4.4	46.6	49.0	95.6	4.2
4602	126	インターネットで検索する	X	8.0	41.5	50.6	92.0	4.2
4603	127	電子メールを利用する	X	8.4	39.7	51.9	91.6	4.2
3103	88	日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのっとって行動する	VII	3.9	40.9	55.2	96.1	4.1
0805	24	購入額を確認・計算する	III	4.7	32.8	62.5	95.3	4.1
3402	96	公共マナー(ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等)を理解する	VIII	6.7	40.2	53.1	93.3	4.0

②頻度の平均点が3.0以上4.0未満の項目

頻度の平均点が3.0以上4.0未満となっている40項目のうち、「IX 自身を豊かにする」に分類されるものが10項目、「IV 目的地に移動する」に分類されるものが9項目を占めている。

表 27 頻度の平均点が3.0以上4.0未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語できないが、このままでもいい(%)	日本語できないが、できるようになりたい(%)	日本語でできる(%)	日本語でできる+日本語できないが、できるようになりたい(%)	遭遇頻度の平均点
3401	95	ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する	VIII	6.6	38.7	54.7	93.4	3.9
3002	84	手助けに感謝する	VI	8.3	37.6	54.1	91.7	3.9
4201	114	日本語を学習する際に、辞書や教材を利用する	IX	5.5	45.8	48.7	94.5	3.8
4102	112	日常生活の中で学習する	IX	7.1	47.3	45.5	92.9	3.8
3201	89	異文化コミュニケーションについて理解する	VII	4.8	46.9	48.3	95.2	3.8
3001	83	職場であいさつする	VI	8.7	37.9	53.4	91.3	3.8
4301	117	日本の共通言語、方言、敬語について理解する	IX	5.2	52.4	42.4	94.8	3.8
4801	132	新聞・雑誌・テレビ・ラジオから情報を収集する	X	7.6	47.1	45.2	92.4	3.8
0804	23	商品情報(素材、注意書き等)について理解する	III	5.0	48.1	46.9	95.0	3.7
0806	25	クレジットカード、ポイントカードなどを利用する	III	6.4	38.5	55.1	93.6	3.6
3203	91	異文化における多様なあいさつがあることを理解し、対応する	VII	5.3	47.7	46.9	94.7	3.6
1203	38	交通標識を理解する	IV	5.4	40.0	54.6	94.6	3.6
0802	21	飲食店を利用し、注文や支払いなどをする	III	3.8	31.0	65.2	96.2	3.6
0803	22	各種サービス(コンビニATM、クリーニング店、宅急便、出前)を利用する	III	4.4	35.7	59.9	95.6	3.5
3202	90	異文化摩擦事例について理解する	VII	5.0	49.5	45.4	95.0	3.5
4201関連	115	日本語を学習する際に、助言を求める	IX	5.1	47.7	47.1	94.9	3.5
4302	118	日本の社会問題について理解する	IX	5.9	56.9	37.3	94.1	3.5
2501	72	同僚・上司・部下とやりとりする	VI	9.7	47.3	42.9	90.3	3.5
4103	113	コンピューターを活用し自学自習する	IX	9.0	49.0	42.0	91.0	3.4
2603	77	指示された業務を遂行する	VI	10.9	48.0	41.2	89.1	3.4
0903	28	ATMを利用する	III	5.1	33.8	61.0	94.9	3.4
0401	9	立入禁止等の注意書き等を理解し事故を回避する	I	4.8	45.7	49.5	95.2	3.4
0302	8	食品保存の注意書きを理解するなどして、衛生管理をする	I	6.4	44.9	48.7	93.6	3.3
2502	73	各種通信(メモ、メッセージ、電子メール)で仕事上のやりとりする	VI	10.1	49.1	40.8	89.9	3.3
1301	40	自転車の交通ルールを理解し遵守する	IV	8.0	38.4	53.6	92.0	3.3
3102	87	自己紹介をする	VII	3.1	24.6	72.3	96.9	3.2
1303	42	施錠するなど自転車の盗難防止をする	IV	10.6	33.9	55.5	89.4	3.2
1202	37	地図を理解する	IV	6.6	41.8	51.6	93.4	3.2
4303	119	日本の教育事情、学校制度について理解する	IX	6.8	57.5	35.7	93.2	3.1
2503	74	仕事に関する文書(発表、通知)について理解する	VI	10.1	53.0	37.0	89.9	3.1
4101	110	日本語以外の学習をする際に、辞書や教材を利用する	IX	9.2	49.9	40.8	90.8	3.1
4002	109	学習の自己管理をする	IX	9.0	50.7	40.3	91.0	3.1
1001	29	公共交通機関の時刻表を確認する	IV	7.2	36.0	56.8	92.8	3.1
0402	10	施錠など防犯に関する内容を理解し、防犯対策を行う	I	7.1	49.3	43.6	92.9	3.0
1302	41	駐輪場を利用する	IV	10.3	35.1	54.7	89.7	3.0
1004	32	公共交通機関で運賃を支払う・切符を購入する	IV	5.9	34.6	59.6	94.1	3.0
4401	120	外出や余暇の計画を立てる	IX	6.7	49.1	44.2	93.3	3.0
1003	31	公共交通機関での行き先・停留所を確認する	IV	7.1	37.8	55.1	92.9	3.0
2901	82	事務機器を活用する	VI	11.1	47.6	41.3	88.9	3.0
1002	30	公共交通機関の路線図を確認する	IV	7.2	38.4	54.3	92.8	3.0

③頻度の平均点が2.0以上3.0未満の項目

頻度の平均点が2.0以上3.0未満となっている36項目のうち、「VI 働く」に分類されるものが9項目、「IX 自身を豊かにする」に分類されるものが8項目を占めている。

表 28 頻度の平均点が2.0以上3.0未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもいい(%)	日本語でできないが、できるようになりたい(%)	日本語でできる(%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい(%)	遭遇頻度の平均点
1402	44	車・オートバイ等を運転する際に道路交通法を理解し遵守する	IV	9.7	45.3	44.9	90.3	2.9
4501	123	郵便を利用する	X	6.8	40.0	53.2	93.2	2.9
4101関連	111	日本語以外の学習をする際に、助言を求める	IX	8.3	50.6	41.2	91.7	2.8
4402	121	情報(イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等)を収集する	IX	6.8	53.6	39.6	93.2	2.8
4001	108	学習目標を設定する	IX	9.4	52.4	38.2	90.6	2.7
3003	85	職場で誘う、誘われる	VI	9.7	45.1	45.1	90.3	2.7
4403	122	地域の公共施設(図書館、スポーツセンター等)を利用する	IX	6.6	50.6	42.8	93.4	2.7
2802	81	就業上必要な能力を理解する	VI	11.1	52.4	36.5	88.9	2.6
3801	104	生活設計をするにあたっての将来目標を設定する	IX	10.2	52.0	37.8	89.8	2.6
3901	106	学習機会について情報収集し、利用方法などを理解して利用する	IX	7.7	56.5	35.7	92.3	2.6
0702	18	電気・ガス・水道等の使用方法を理解する	II	8.0	45.8	46.3	92.0	2.6
4502	124	宅配便を利用する	X	7.6	42.4	49.9	92.4	2.5
2601	75	取引先や顧客等と業務に関する情報をやりとりする	VI	13.5	53.8	32.7	86.5	2.5
1201	36	住所・番地を確認する	IV	6.8	40.0	53.2	93.2	2.5
2801	80	職場でアイデアや見解を効果的に発表する	VI	10.4	55.9	33.7	89.6	2.5
2402	70	安全上の標示等を理解する	VI	10.6	49.8	39.6	89.4	2.4
1204	39	道を聞く	IV	4.1	39.0	57.0	95.9	2.4
2602	76	取引先や顧客等に進捗(しんちよく)状況・問題を報告する	VI	13.5	54.7	31.8	86.5	2.4
3802	105	各種資格等に関する情報を収集し、理解する	IX	9.0	56.9	34.1	91.0	2.3
4701	128	固定電話を利用する	X	13.8	41.3	44.9	86.2	2.3
0701	17	電気・ガス・水道等の使用を開始する	II	8.2	49.1	42.7	91.8	2.3
2401	69	仕事の指示・マニュアル等を理解する	VI	11.0	53.6	35.4	89.0	2.3
0902	27	金融機関の各種サービスを利用する	III	7.9	52.8	39.4	92.1	2.3
0703	19	電気・ガス・水道等の料金を支払う	II	7.5	42.4	50.1	92.5	2.3
3701	101	国民健康保険・国民年金等に加入する	VIII	10.4	53.9	35.7	89.6	2.2
2302	67	給与明細について理解する	VI	10.2	47.9	42.0	89.8	2.2
0502 0503 0504	13	災害発生時に身を守るために行動する	I	5.4	54.5	40.1	94.6	2.1
3902	107	各種資格を取得する	IX	10.4	57.3	32.4	89.6	2.1
0901	26	口座を開設する	III	7.1	50.9	42.0	92.9	2.1
0301	7	体調管理や健康診断の受診などで病気を予防する	I	5.5	53.1	41.4	94.5	2.0
0501	12	避難場所・方法を確認する	I	5.9	52.9	41.3	94.1	2.0
3302	93	各種税金(所得税、住民税等)を支払う	VIII	8.9	54.5	36.6	91.1	2.0
0203	6	薬の説明を理解し、適切に利用する	I	5.1	50.1	44.8	94.9	2.0
2301	66	労働条件について理解する	VI	10.6	51.9	37.5	89.4	2.0
1401	43	運転免許の手続等をする	IV	11.3	47.5	41.2	88.7	2.0
0202	5	薬局・薬店を利用する	I	5.8	43.1	51.1	94.2	2.0

④頻度の平均点が2.0未満の項目

頻度の平均点が2.0未満となっている46項目のうち、「V 子育て・教育を行う」に分類されるものが18項目を占めている。

表 29 頻度の平均点が2.0未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもいい(%)	日本語でできないが、できるようになりたい(%)	日本語のできる(%)	日本語のできる+日本語でできないが、できるようになりたい(%)	遭遇頻度の平均点
1103	35	タクシーの運賃を支払う	IV	8.8	35.3	55.9	91.2	1.9
1102	34	タクシーに乗って行き先を指示する	IV	8.3	38.8	52.9	91.7	1.9
2701	78	人事考課の面談を受ける	VI	12.5	53.3	34.2	87.5	1.9
4601	125	インターネットプロバイダーと契約する	X	9.9	53.1	37.0	90.1	1.9
3501	97	自治会行事に参加・協力する	VIII	11.5	53.7	34.8	88.5	1.9
0103	3	医師の説明・指示を理解し、応答する	I	6.3	56.0	37.7	93.7	1.9
0403 0404	11	事件・事故があった際に周りの人に助けを求める	I	4.5	53.5	42.0	95.5	1.9
1101	33	タクシーを呼ぶ	IV	8.4	43.0	48.6	91.6	1.9
1701	50	子供の健康を管理(食事、歯磨き、睡眠等)する	V	29.1	38.6	32.3	70.9	1.9
0101	1	症状に合わせて、医療機関を探す	I	6.1	54.0	39.9	93.9	1.9
3301	92	各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする	VIII	8.9	53.9	37.2	91.1	1.9
1802	54	子供の遊び場として公園を利用する	V	28.2	34.0	37.8	71.8	1.8
0102	2	問診表に記入する	I	6.4	53.3	40.3	93.6	1.8
2201	63	就職のための情報収集をする	VI	12.4	52.8	34.9	87.6	1.8
0201	4	処方せんを持って薬局へ行く	I	5.8	44.8	49.4	94.2	1.8
4702	129	ファクシミリを利用する	X	19.7	43.1	37.2	80.3	1.8
2403	71	危険・事故・けが・損傷について報告する	VI	11.0	54.9	34.1	89.0	1.8
3303	94	確定申告・還付申告を行う	VIII	10.9	58.0	31.1	89.1	1.7
2702	79	雇用の契約更新の手続きを行う	VI	11.5	54.1	34.3	88.5	1.7
2203	65	雇用契約を交わす	VI	11.9	53.4	34.7	88.1	1.7
1703	52	健康診断の通知等について理解する	V	25.3	43.5	31.2	74.7	1.7
2202	64	求人に応募する	VI	13.0	53.3	33.7	87.0	1.7
1901	55	託児施設・保育施設を利用する	V	28.9	38.4	32.7	71.1	1.7
3702	102	各種補助金を申請する・受給する	VIII	12.4	57.3	30.4	87.6	1.7
3602	100	福祉サービス、関係団体とのネットワーク、相談窓口などの支援を利用する	VIII	13.0	57.5	29.5	87.0	1.6
3502	98	地方参政権、選挙等について理解する	VIII	17.9	53.7	28.4	82.1	1.6
3601	99	各種手当(育児手当、扶養手当、介護申請等)を申請する	VIII	13.5	56.6	29.8	86.5	1.6
3703	103	医療費補助を請求する	VIII	11.6	59.0	29.4	88.4	1.6
2002	57	学校行事に参加する	V	26.2	40.3	33.5	73.8	1.6
1702	51	伝染病の予防接種を受ける	V	25.8	42.3	31.9	74.2	1.5
2003	58	学費などを理解し、納入する	V	27.3	39.8	32.9	72.7	1.5
2004	59	子どもの学校生活について先生に相談する	V	26.9	42.2	30.9	73.1	1.5
1801	53	地域の育児サービスを利用する	V	29.4	41.2	29.4	70.6	1.5
1603	49	子供の身長・体重・身体発達といった子育てに関する情報を理解する	V	29.3	39.8	30.9	70.7	1.5
2001	56	就学に関する手続きを行う	V	28.4	41.6	30.1	71.6	1.5
2303	68	労働者団体(組合等)へ加入する	VI	16.2	53.5	30.3	83.8	1.5
0601	14	住居を探す	II	9.1	52.9	38.0	90.9	1.5
0602	15	住まいに関する契約をする	II	10.2	56.8	33.1	89.8	1.4
1502	46	母子健康手帳の使い方や内容を理解し、母子健康手帳をもらう	V	30.9	40.2	28.9	69.1	1.4
2005	60	進路相談を行う	V	27.2	43.9	28.9	72.8	1.4
0603	16	引っ越しをする	II	9.9	53.8	36.2	90.1	1.4
2101	61	子供の障害の特徴等を理解する	V	30.7	41.9	27.4	69.3	1.3
1501	45	出産前の健診を受ける	V	31.6	39.5	28.9	68.4	1.3
1602	48	乳幼児健診を受ける	V	30.9	40.7	28.4	69.1	1.3
1601	47	出産に伴う手続きや準備をする	V	32.4	40.1	27.5	67.6	1.3
2102	62	子供を特別支援学校・学級への入学手続きをする	V	32.0	41.5	26.5	68.0	1.2

(4)全体の集計結果(「日本語でできる」の回答割合別)

実態調査の調査項目132項目について、「日本語でできる」の回答割合に着目して整理した。

表 30 大分類ごとに見る「日本語でできる」の回答割合の分布

大分類	項目数	「日本語でできる」の回答割合				
		30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上
I 健康・安全に暮らす	13	0	2	10	1	0
II 住居を確保・維持する	6	0	3	2	1	0
III 消費活動を行う	9	0	1	2	2	4
IV 目的地に移動する	16	0	0	3	13	0
V 子育て・教育を行う	18	8	10	0	0	0
VI 働く	23	0	15	6	2	0
VII 人とかかわる	6	0	0	3	1	2
VIII 社会の一員となる	12	4	6	0	2	0
IX 自身を豊かにする	19	0	8	11	0	0
X 情報を収集・発信する	10	0	2	3	5	0
合計	132	12	47	40	27	6

①「日本語でできる」の回答割合が60%以上の項目

「日本語でできる」の回答割合が60%以上となっている項目は、「VII 人とかかわる」「III 消費活動を行う」に分類される6項目であった。「自己紹介をする」「人付き合いの中であいさつをする」は、職場や地域社会などのコミュニティにおいても最初に必要となる行為である。また、「III 消費活動を行う」に分類される項目では、日常的な消費行動で「日本語でできる」の回答割合が60%以上となっている。

表 31 「日本語でできる」の回答割合が60%以上の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままできなくてもいい(%)	日本語でできないが、できるようになりたい(%)	日本語でできる(%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい(%)	遭遇頻度の平均点
3102	87	自己紹介をする	VII	3.1	24.6	72.3	96.9	3.2
3101	86	人付き合いの中であいさつをする	VII	3.5	26.9	69.6	96.5	4.5
0801	20	店員がいる店(スーパー、コンビニなど)で、買い物をする	III	4.4	28.0	67.6	95.6	4.3
0802	21	飲食店を利用し、注文や支払いなどをする	III	3.8	31.0	65.2	96.2	3.6
0805	24	購入額を確認・計算する	III	4.7	32.8	62.5	95.3	4.1
0903	28	ATMを利用する	III	5.1	33.8	61.0	94.9	3.4

②「日本語でできる」の回答割合が50%以上60%未満の項目

「日本語でできる」の回答割合が50%以上60%未満となっている27項目のうち、「IV 目的地に移動する」に分類される項目が13項目を占めている。次いで「X 情報を収集・発信する」に分類される項目が5項目となっている。また、「X 情報を収集・発信する」に分類される項目は、スマートフォンやインターネットに関連する項目となっている。

表 32 「日本語でできる」の回答割合が50%以上60%未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもいい(%)	日本語でできないが、できるようになりたい(%)	日本語でできる(%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい(%)	遭遇頻度の平均点
0803	22	各種サービス(コンビニATM、クリーニング店、宅急便、出前)を利用する	III	4.4	35.7	59.9	95.6	3.5
1004	32	公共交通機関で運賃を支払う・切符を購入する	IV	5.9	34.6	59.6	94.1	3.0
1204	39	道を聞く	IV	4.1	39.0	57.0	95.9	2.4
1001	29	公共交通機関の時刻表を確認する	IV	7.2	36.0	56.8	92.8	3.1
1103	35	タクシーの運賃を支払う	IV	8.8	35.3	55.9	91.2	1.9
1303	42	施錠するなど自転車の盗難防止をする	IV	10.6	33.9	55.5	89.4	3.2
3103	88	日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのっとって行動する	VII	3.9	40.9	55.2	96.1	4.1
0806	25	クレジットカード、ポイントカードなどを利用する	III	6.4	38.5	55.1	93.6	3.6
1003	31	公共交通機関での行き先・停留所を確認する	IV	7.1	37.8	55.1	92.9	3.0
4702関連	131	SNS(LINE、Messengerなど)を利用する	X	8.2	37.1	54.8	91.8	4.7
1302	41	駐輪場を利用する	IV	10.3	35.1	54.7	89.7	3.0
3401	95	ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する	VIII	6.6	38.7	54.7	93.4	3.9
1203	38	交通標識を理解する	IV	5.4	40.0	54.6	94.6	3.6
4702関連	130	携帯電話・スマートフォンを利用する	X	7.9	37.7	54.5	92.1	4.9
1002	30	公共交通機関の路線図を確認する	IV	7.2	38.4	54.3	92.8	3.0
3002	84	手助けに感謝する	VI	8.3	37.6	54.1	91.7	3.9
1301	40	自転車の交通ルールを理解し遵守する	IV	8.0	38.4	53.6	92.0	3.3
3001	83	職場であいさつする	VI	8.7	37.9	53.4	91.3	3.8
1201	36	住所・番地を確認する	IV	6.8	40.0	53.2	93.2	2.5
4501	123	郵便を利用する	X	6.8	40.0	53.2	93.2	2.9
3402	96	公共マナー(ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等)を理解する	VIII	6.7	40.2	53.1	93.3	4.0
1102	34	タクシーに乗って行き先を指示する	IV	8.3	38.8	52.9	91.7	1.9
4603	127	電子メールを利用する	X	8.4	39.7	51.9	91.6	4.2
1202	37	地図を理解する	IV	6.6	41.8	51.6	93.4	3.2
0202	5	薬局・薬店を利用する	I	5.8	43.1	51.1	94.2	2.0
4602	126	インターネットで検索する	X	8.0	41.5	50.6	92.0	4.2
0703	19	電気・ガス・水道等の料金を支払う	II	7.5	42.4	50.1	92.5	2.3

③「日本語でできる」の回答割合が40%以上50%未満の項目

「日本語でできる」の回答割合が40%以上50%未満となっている40項目のうち、「I 健康・安全に暮らす」に分類される項目が10項目、「IX 自信を豊かにする」に分類される項目が11項目を占めている。

表 33 「日本語でできる」の回答割合が40%以上50%未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもよい (%)	日本語でできないが、できるようになりたい (%)	日本語でできる (%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい (%)	遭遇頻度の平均点
4502	124	宅配便を利用する	X	7.6	42.4	49.9	92.4	2.5
0401	9	立入禁止等の注意書き等を理解し事故を回避する	I	4.8	45.7	49.5	95.2	3.4
0201	4	処方せんを持って薬局へ行く	I	5.8	44.8	49.4	94.2	1.8
4202	116	日常生活の中で日本語を学習する	IX	4.4	46.6	49.0	95.6	4.2
0302	8	食品保存の注意書きを理解するなどして、衛生管理をする	I	6.4	44.9	48.7	93.6	3.3
4201	114	日本語を学習する際に、辞書や教材を利用する	IX	5.5	45.8	48.7	94.5	3.8
1101	33	タクシーを呼ぶ	IV	8.4	43.0	48.6	91.6	1.9
3201	89	異文化コミュニケーションについて理解する	VII	4.8	46.9	48.3	95.2	3.8
4201関連	115	日本語を学習する際に、助言を求める	IX	5.1	47.7	47.1	94.9	3.5
0804	23	商品情報(素材、注意書き等)について理解する	III	5.0	48.1	46.9	95.0	3.7
3203	91	異文化における多様なあいさつがあることを理解し、対応する	VII	5.3	47.7	46.9	94.7	3.6
0702	18	電気・ガス・水道等の使用方法を理解する	II	8.0	45.8	46.3	92.0	2.6
4102	112	日常生活の中で学習する	IX	7.1	47.3	45.5	92.9	3.8
3202	90	異文化摩擦事例について理解する	VII	5.0	49.5	45.4	95.0	3.5
4801	132	新聞・雑誌・テレビ・ラジオから情報を収集する	X	7.6	47.1	45.2	92.4	3.8
3003	85	職場で誘う、誘われる	VI	9.7	45.1	45.1	90.3	2.7
1402	44	車・オートバイ等を運転する際に道路交通法を理解し遵守する	IV	9.7	45.3	44.9	90.3	2.9
4701	128	固定電話を利用する	X	13.8	41.3	44.9	86.2	2.3
0203	6	薬の説明を理解し、適切に利用する	I	5.1	50.1	44.8	94.9	2.0
4401	120	外出や余暇の計画を立てる	IX	6.7	49.1	44.2	93.3	3.0
0402	10	施錠など防犯に関する内容を理解し、防犯対策を行う	I	7.1	49.3	43.6	92.9	3.0
2501	72	同僚・上司・部下とやりとりする	VI	9.7	47.3	42.9	90.3	3.5
4403	122	地域の公共施設(図書館、スポーツセンター等)を利用する	IX	6.6	50.6	42.8	93.4	2.7
0701	17	電気・ガス・水道等の使用を開始する	II	8.2	49.1	42.7	91.8	2.3
4301	117	日本の共通言語、方言、敬語について理解する	IX	5.2	52.4	42.4	94.8	3.8
0403 0404	11	事件・事故があった際に周りの人に助けを求める	I	4.5	53.5	42.0	95.5	1.9
0901	26	口座を開設する	III	7.1	50.9	42.0	92.9	2.1
2302	67	給与明細について理解する	VI	10.2	47.9	42.0	89.8	2.2
4103	113	コンピューターを活用し自学自習する	IX	9.0	49.0	42.0	91.0	3.4
0301	7	体調管理や健康診断の受診などで病気を予防する	I	5.5	53.1	41.4	94.5	2.0
0501	12	避難場所・方法を確認する	I	5.9	52.9	41.3	94.1	2.0
2901	82	事務機器を活用する	VI	11.1	47.6	41.3	88.9	3.0
1401	43	運転免許の手続等をする	IV	11.3	47.5	41.2	88.7	2.0
2603	77	指示された業務を遂行する	VI	10.9	48.0	41.2	89.1	3.4
4101関連	111	日本語以外の学習をする際に、助言を求める	IX	8.3	50.6	41.2	91.7	2.8
2502	73	各種通信(メモ、メッセージ、電子メール)で仕事上のやりとりする	VI	10.1	49.1	40.8	89.9	3.3
4101	110	日本語以外の学習をする際に、辞書や教材を利用する	IX	9.2	49.9	40.8	90.8	3.1
0102	2	問診表に記入する	I	6.4	53.3	40.3	93.6	1.8
4002	109	学習の自己管理をする	IX	9.0	50.7	40.3	91.0	3.1
0502 0503 0504	13	災害発生時に身を守るために行動する	I	5.4	54.5	40.1	94.6	2.1

④「日本語でできる」の回答割合が30%以上40%未満の項目

「日本語でできる」の回答割合が30%以上40%未満となっている47項目のうち、「V 子育て・教育を行う」に分類される項目が10項目、「VI 働く」に分類される項目が15項目を占めている。

表 34 「日本語でできる」の回答割合が30%以上40%未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもよい (%)	日本語でできないが、できるようになりたい (%)	日本語でできる (%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい (%)	遭遇頻度の平均点
0101	1	症状に合わせて、医療機関を探す	I	6.1	54.0	39.9	93.9	1.9
2402	70	安全上の標示等を理解する	VI	10.6	49.8	39.6	89.4	2.4
4402	121	情報(イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等)を収集する	IX	6.8	53.6	39.6	93.2	2.8
0902	27	金融機関の各種サービスを利用する	III	7.9	52.8	39.4	92.1	2.3
4001	108	学習目標を設定する	IX	9.4	52.4	38.2	90.6	2.7
0601	14	住居を探す	II	9.1	52.9	38.0	90.9	1.5
1802	54	子供の遊び場として公園を利用する	V	28.2	34.0	37.8	71.8	1.8
3801	104	生活設計をするにあたっての将来目標を設定する	IX	10.2	52.0	37.8	89.8	2.6
0103	3	医者の説明・指示を理解し、応答する	I	6.3	56.0	37.7	93.7	1.9
2301	66	労働条件について理解する	VI	10.6	51.9	37.5	89.4	2.0
4302	118	日本の社会問題について理解する	IX	5.9	56.9	37.3	94.1	3.5
3301	92	各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする	VIII	8.9	53.9	37.2	91.1	1.9
4702	129	ファクシミリを利用する	X	19.7	43.1	37.2	80.3	1.8
2503	74	仕事に関する文書(発表、通知)について理解する	VI	10.1	53.0	37.0	89.9	3.1
4601	125	インターネットプロバイダーと契約する	X	9.9	53.1	37.0	90.1	1.9
3302	93	各種税金(所得税、住民税等)を支払う	VIII	8.9	54.5	36.6	91.1	2.0
2802	81	就業に必要な能力を理解する	VI	11.1	52.4	36.5	88.9	2.6
0603	16	引越しをする	II	9.9	53.8	36.2	90.1	1.4
3701	101	国民健康保険・国民年金等に参加する	VIII	10.4	53.9	35.7	89.6	2.2
3901	106	学習機会について情報収集し、利用方法などを理解して利用する	IX	7.7	56.5	35.7	92.3	2.6
4303	119	日本の教育事情、学校制度について理解する	IX	6.8	57.5	35.7	93.2	3.1
2401	69	仕事の指示・マニュアル等を理解する	VI	11.0	53.6	35.4	89.0	2.3
2201	63	就職のための情報収集をする	VI	12.4	52.8	34.9	87.6	1.8
3501	97	自治会行事に参加・協力する	VIII	11.5	53.7	34.8	88.5	1.9
2203	65	雇用契約を交わす	VI	11.9	53.4	34.7	88.1	1.7
2702	79	雇用の契約更新の手続きを行う	VI	11.5	54.1	34.3	88.5	1.7
2701	78	人事考課の面談を受ける	VI	12.5	53.3	34.2	87.5	1.9
2403	71	危険・事故・けが・損傷について報告する	VI	11.0	54.9	34.1	89.0	1.8
3802	105	各種資格等に関する情報を収集し、理解する	IX	9.0	56.9	34.1	91.0	2.3
2202	64	求人に応募する	VI	13.0	53.3	33.7	87.0	1.7
2801	80	職場でアイデアや見解を効果的に発表する	VI	10.4	55.9	33.7	89.6	2.5
2002	57	学校行事に参加する	V	26.2	40.3	33.5	73.8	1.6
0602	15	住まいに関する契約をする	II	10.2	56.8	33.1	89.8	1.4
2003	58	学費などを理解し、納入する	V	27.3	39.8	32.9	72.7	1.5
1901	55	託児施設・保育施設を利用する	V	28.9	38.4	32.7	71.1	1.7
2601	75	取引先や顧客等と業務に関する情報をやりとりする	VI	13.5	53.8	32.7	86.5	2.5
3902	107	各種資格を取得する	IX	10.4	57.3	32.4	89.6	2.1
1701	50	子供の健康を管理(食事、歯磨き、睡眠等)する	V	29.1	38.6	32.3	70.9	1.9
1702	51	伝染病の予防接種を受ける	V	25.8	42.3	31.9	74.2	1.5
2602	76	取引先や顧客等に進捗(しんちよく)状況・問題を報告する	VI	13.5	54.7	31.8	86.5	2.4
1703	52	健康診断の通知等について理解する	V	25.3	43.5	31.2	74.7	1.7
3303	94	確定申告・還付申告を行う	VIII	10.9	58.0	31.1	89.1	1.7
1603	49	子供の身長・体重・身体発達といった子育てに関する情報を理解する	V	29.3	39.8	30.9	70.7	1.5
2004	59	子どもの学校生活について先生に相談する	V	26.9	42.2	30.9	73.1	1.5
3702	102	各種補助金を申請する・受給する	VIII	12.4	57.3	30.4	87.6	1.7
2303	68	労働者団体(組合等)へ加入する	VI	16.2	53.5	30.3	83.8	1.5
2001	56	就学に関する手続を行う	V	28.4	41.6	30.1	71.6	1.5

⑤「日本語でできる」の回答割合が30%未満の項目

「日本語でできる」の回答割合が30%未満となっている12項目のうち、「V 子育て・教育を行う」が8項目を占めている。

表 35 「日本語でできる」の回答割合が30%未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもいい(%)	日本語でできないが、できるようになりたい(%)	日本語でできる(%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい(%)	遭遇頻度の平均点
3601	99	各種手当(育児手当、扶養手当、介護申請等)を申請する	VIII	13.5	56.6	29.8	86.5	1.6
3602	100	福祉サービス、関係団体とのネットワーク、相談窓口などの支援を利用する	VIII	13.0	57.5	29.5	87.0	1.6
1801	53	地域の育児サービスを利用する	V	29.4	41.2	29.4	70.6	1.5
3703	103	医療費補助を請求する	VIII	11.6	59.0	29.4	88.4	1.6
1501	45	出産前の健診を受ける	V	31.6	39.5	28.9	68.4	1.3
1502	46	母子健康手帳の使い方や内容を理解し、母子健康手帳をもらう	V	30.9	40.2	28.9	69.1	1.4
2005	60	進路相談を行う	V	27.2	43.9	28.9	72.8	1.4
1602	48	乳幼児健診を受ける	V	30.9	40.7	28.4	69.1	1.3
3502	98	地方参政権、選挙等について理解する	VIII	17.9	53.7	28.4	82.1	1.6
1601	47	出産に伴う手続きや準備をする	V	32.4	40.1	27.5	67.6	1.3
2101	61	子供の障害の特徴等を理解する	V	30.7	41.9	27.4	69.3	1.3
2102	62	子供を特別支援学校・学級への入学手続きをする	V	32.0	41.5	26.5	68.0	1.2

(5)全体集計の結果(「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合別)

実態調査の調査項目132項目について、「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合に着目して整理した。

「IV 目的地に移動する」の分類される項目で「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が低くなっているが、これは「日本語でできる」と回答している割合が高くなっているためと考えられる。

表 36 大分類ごとに見る「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合の分布

大分類	項目数	「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合			
		30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上
I 健康・安全に暮らす	13	0	0	5	8
II 住居を確保・維持する	6	0	0	3	3
III 消費活動を行う	9	1	5	1	2
IV 目的地に移動する	16	0	10	6	0
V 子育て・教育を行う	18	0	6	12	0
VI 働く	23	0	2	7	14
VII 人とかかわる	6	2	0	4	0
VIII 社会の一員となる	12	0	1	1	10
IX 自身を豊かにする	19	0	0	7	12
X 情報を収集・発信する	10	0	3	6	1
合計	132	3	27	52	50

①「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が50%以上の項目

「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が50%以上となっている50項目のうち、「VI 働く」に分類される項目が14項目、「VIII 社会の一員となる」に分類される項目が10項目、「IX 自身を豊かにする」に分類される項目が12項目を占めている。

特に「VIII 社会の一員となる」の中でも「医療費補助を請求する」「確定申告・還付申告を行う」など手続きに関する生活上の行為の事例で「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が多くなっている。

表 37 「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が 50%以上の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもいい (%)	日本語でできないが、できるようになりたい (%)	日本語でできる (%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい (%)	遭遇頻度の平均点
3703	103	医療費補助を請求する	VIII	11.6	59.0	29.4	88.4	1.6
3303	94	確定申告・還付申告を行う	VIII	10.9	58.0	31.1	89.1	1.7
3602	100	福祉サービス、関係団体とのネットワーク、相談窓口などの支援を利用する	VIII	13.0	57.5	29.5	87.0	1.6
4303	119	日本の教育事情、学校制度について理解する	IX	6.8	57.5	35.7	93.2	3.1
3702	102	各種補助金を申請する・受給する	VIII	12.4	57.3	30.4	87.6	1.7
3902	107	各種資格を取得する	IX	10.4	57.3	32.4	89.6	2.1
3802	105	各種資格等に関する情報を収集し、理解する	IX	9.0	56.9	34.1	91.0	2.3
4302	118	日本の社会問題について理解する	IX	5.9	56.9	37.3	94.1	3.5
0602	15	住まいに関する契約をする	II	10.2	56.8	33.1	89.8	1.4
3601	99	各種手当(育児手当、扶養手当、介護申請等)を申請する	VIII	13.5	56.6	29.8	86.5	1.6
3901	106	学習機会について情報収集し、利用方法などを理解して利用する	IX	7.7	56.5	35.7	92.3	2.6
0103	3	医者の説明・指示を理解し、応答する	I	6.3	56.0	37.7	93.7	1.9
2801	80	職場でアイデアや見解を効果的に発表する	VI	10.4	55.9	33.7	89.6	2.5
2403	71	危険・事故・けが・損傷について報告する	VI	11.0	54.9	34.1	89.0	1.8
2602	76	取引先や顧客等に進捗(しんちよく)状況・問題を報告する	VI	13.5	54.7	31.8	86.5	2.4
0502 0503 0504	13	災害発生時に身を守るために行動する	I	5.4	54.5	40.1	94.6	2.1
3302	93	各種税金(所得税、住民税等)を支払う	VIII	8.9	54.5	36.6	91.1	2.0
2702	79	雇用の契約更新の手続きを行う	VI	11.5	54.1	34.3	88.5	1.7
0101	1	症状に合わせて、医療機関を探す	I	6.1	54.0	39.9	93.9	1.9
3301	92	各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする	VIII	8.9	53.9	37.2	91.1	1.9
3701	101	国民健康保険・国民年金等に加入する	VIII	10.4	53.9	35.7	89.6	2.2
2601	75	取引先や顧客等と業務に関する情報をやりとりする	VI	13.5	53.8	32.7	86.5	2.5
0603	16	引っ越しをする	II	9.9	53.8	36.2	90.1	1.4
3501	97	自治会行事に参加・協力する	VIII	11.5	53.7	34.8	88.5	1.9
3502	98	地方参政権、選挙等について理解する	VIII	17.9	53.7	28.4	82.1	1.6
2401	69	仕事の指示・マニュアル等を理解する	VI	11.0	53.6	35.4	89.0	2.3
4402	121	情報(イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等)を収集する	IX	6.8	53.6	39.6	93.2	2.8
0403 0404	11	事件・事故があった際に周りの人に助けを求める	I	4.5	53.5	42.0	95.5	1.9
2303	68	労働者団体(組合等)へ加入する	VI	16.2	53.5	30.3	83.8	1.5
2203	65	雇用契約を交わす	VI	11.9	53.4	34.7	88.1	1.7
0102	2	問診表に記入する	I	6.4	53.3	40.3	93.6	1.8
2202	64	求人に応募する	VI	13.0	53.3	33.7	87.0	1.7
2701	78	人事課との面談を受ける	VI	12.5	53.3	34.2	87.5	1.9
0301	7	体調管理や健康診断の受診などで病気を予防する	I	5.5	53.1	41.4	94.5	2.0
4601	125	インターネットプロバイダーと契約する	X	9.9	53.1	37.0	90.1	1.9
2503	74	仕事に関する文書(発表、通知)について理解する	VI	10.1	53.0	37.0	89.9	3.1
0501	12	避難場所・方法を確認する	I	5.9	52.9	41.3	94.1	2.0
0601	14	住居を探す	II	9.1	52.9	38.0	90.9	1.5
0902	27	金融機関の各種サービスを利用する	III	7.9	52.8	39.4	92.1	2.3
2201	63	就職のための情報収集をする	VI	12.4	52.8	34.9	87.6	1.8
2802	81	就業に必要な能力を理解する	VI	11.1	52.4	36.5	88.9	2.6
4001	108	学習目標を設定する	IX	9.4	52.4	38.2	90.6	2.7
4301	117	日本の共通言語、方言、敬語について理解する	IX	5.2	52.4	42.4	94.8	3.8
3801	104	生活設計をするにあたっての将来目標を設定する	IX	10.2	52.0	37.8	89.8	2.6
2301	66	労働条件について理解する	VI	10.6	51.9	37.5	89.4	2.0
0901	26	口座を開設する	III	7.1	50.9	42.0	92.9	2.1
4002	109	学習の自己管理をする	IX	9.0	50.7	40.3	91.0	3.1
4101関連	111	日本語以外の学習をする際に、助言を求める	IX	8.3	50.6	41.2	91.7	2.8
4403	122	地域の公共施設(図書館、スポーツセンター等)を利用する	IX	6.6	50.6	42.8	93.4	2.7
0203	6	薬の説明を理解し、適切に利用する	I	5.1	50.1	44.8	94.9	2.0

②「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が40%以上50%未満の項目

「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が40%以上50%未満となっている52項目のうち、「V 子育て・教育を行う」に分類される項目が12項目を占めている。

表 38 「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が40%以上50%未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでも良い(%)	日本語でできないが、できるようになりたい(%)	日本語でできる(%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい(%)	遭遇頻度の平均点
4101	110	日本語以外の学習をする際に、辞書や教材を利用する	IX	9.2	49.9	40.8	90.8	3.1
2402	70	安全上の標示等を理解する	VI	10.6	49.8	39.6	89.4	2.4
3202	90	異文化摩擦事例について理解する	VII	5.0	49.5	45.4	95.0	3.5
0402	10	施設など防犯に関する内容を理解し、防犯対策を行う	I	7.1	49.3	43.6	92.9	3.0
0701	17	電気・ガス・水道等の使用を開始する	II	8.2	49.1	42.7	91.8	2.3
2502	73	各種通信(メモ、メッセージ、電子メール)で仕事上のやりとりする	VI	10.1	49.1	40.8	89.9	3.3
4401	120	外出や余暇の計画を立てる	IX	6.7	49.1	44.2	93.3	3.0
4103	113	コンピューターを活用し自学自習する	IX	9.0	49.0	42.0	91.0	3.4
0804	23	商品情報(素材、注意書き等)について理解する	III	5.0	48.1	46.9	95.0	3.7
2603	77	指示された業務を遂行する	VI	10.9	48.0	41.2	89.1	3.4
2302	67	給与明細について理解する	VI	10.2	47.9	42.0	89.8	2.2
3203	91	異文化における多様なあいさつがあることを理解し、対応する	VII	5.3	47.7	46.9	94.7	3.6
4201関連	115	日本語を学習する際に、助言を求める	IX	5.1	47.7	47.1	94.9	3.5
2901	82	事務機器を活用する	VI	11.1	47.6	41.3	88.9	3.0
1401	43	運転免許の手続等をする	IV	11.3	47.5	41.2	88.7	2.0
2501	72	同僚・上司・部下とやりとりする	VI	9.7	47.3	42.9	90.3	3.5
4102	112	日常生活の中で学習する	IX	7.1	47.3	45.5	92.9	3.8
4801	132	新聞・雑誌・テレビ・ラジオから情報を収集する	X	7.6	47.1	45.2	92.4	3.8
3201	89	異文化コミュニケーションについて理解する	VII	4.8	46.9	48.3	95.2	3.8
4202	116	日常生活の中で日本語を学習する	IX	4.4	46.6	49.0	95.6	4.2
0702	18	電気・ガス・水道等の使用方法を理解する	II	8.0	45.8	46.3	92.0	2.6
4201	114	日本語を学習する際に、辞書や教材を利用する	IX	5.5	45.8	48.7	94.5	3.8
0401	9	立入禁止等の注意書き等を理解し事故を回避する	I	4.8	45.7	49.5	95.2	3.4
1402	44	車・オートバイ等を運転する際に道路交通法を理解し遵守する	IV	9.7	45.3	44.9	90.3	2.9
3003	85	職場で誘う、誘われる	VI	9.7	45.1	45.1	90.3	2.7
0302	8	食品保存の注意書きを理解するなどして、衛生管理をする	I	6.4	44.9	48.7	93.6	3.3
0201	4	処方せんを持って薬局へ行く	I	5.8	44.8	49.4	94.2	1.8
2005	60	進路相談を行う	V	27.2	43.9	28.9	72.8	1.4
1703	52	健康診断の通知等について理解する	V	25.3	43.5	31.2	74.7	1.7
0202	5	薬局・薬店を利用する	I	5.8	43.1	51.1	94.2	2.0
4702	129	ファクシミリを利用する	X	19.7	43.1	37.2	80.3	1.8
1101	33	タクシーを呼ぶ	IV	8.4	43.0	48.6	91.6	1.9
0703	19	電気・ガス・水道等の料金を支払う	II	7.5	42.4	50.1	92.5	2.3
4502	124	宅配便を利用する	X	7.6	42.4	49.9	92.4	2.5
1702	51	伝染病の予防接種を受ける	V	25.8	42.3	31.9	74.2	1.5
2004	59	子どもの学校生活について先生に相談する	V	26.9	42.2	30.9	73.1	1.5
2101	61	子供の障害の特徴等を理解する	V	30.7	41.9	27.4	69.3	1.3
1202	37	地図を理解する	IV	6.6	41.8	51.6	93.4	3.2
2001	56	就学に関する手続を行う	V	28.4	41.6	30.1	71.6	1.5
2102	62	子供を特別支援学校・学級への入学手続をする	V	32.0	41.5	26.5	68.0	1.2
4602	126	インターネットで検索する	X	8.0	41.5	50.6	92.0	4.2
4701	128	固定電話を利用する	X	13.8	41.3	44.9	86.2	2.3
1801	53	地域の育児サービスを利用する	V	29.4	41.2	29.4	70.6	1.5
3103	88	日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのっとって行動する	VII	3.9	40.9	55.2	96.1	4.1
1602	48	乳幼児健診を受ける	V	30.9	40.7	28.4	69.1	1.3
2002	57	学校行事に参加する	V	26.2	40.3	33.5	73.8	1.6
1502	46	母子健康手帳の使い方や内容を理解し、母子健康手帳をもらう	V	30.9	40.2	28.9	69.1	1.4
3402	96	公共マナー(ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等)を理解する	VIII	6.7	40.2	53.1	93.3	4.0
1601	47	出産に伴う手続きや準備をする	V	32.4	40.1	27.5	67.6	1.3
1201	36	住所・番地を確認する	IV	6.8	40.0	53.2	93.2	2.5
1203	38	交通標識を理解する	IV	5.4	40.0	54.6	94.6	3.6
4501	123	郵便を利用する	X	6.8	40.0	53.2	93.2	2.9

③「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が 30%以上 40%未満の項目

「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が30%以上40%未満となっている27項目のうち、「IV 目的地に移動する」に分類される項目が10項目を占めている。これは、「IV 目的地に移動する」に分類される項目は、「日本語でできる」の回答割合が高い項目が多いためだと考えられる。

表 39 「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が 30%以上40%未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままできなくともいい (%)	日本語でできないが、できるようになりたい (%)	日本語でできる (%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい (%)	遭遇頻度の平均点
1603	49	子供の身長・体重・身体発達といった子育てに関する情報を理解する	V	29.3	39.8	30.9	70.7	1.5
2003	58	学費などを理解し、納入する	V	27.3	39.8	32.9	72.7	1.5
4603	127	電子メールを利用する	X	8.4	39.7	51.9	91.6	4.2
1501	45	出産前の健診を受ける	V	31.6	39.5	28.9	68.4	1.3
1204	39	道を聞く	IV	4.1	39.0	57.0	95.9	2.4
1102	34	タクシーに乗って行き先を指示する	IV	8.3	38.8	52.9	91.7	1.9
3401	95	ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する	VIII	6.6	38.7	54.7	93.4	3.9
1701	50	子供の健康を管理(食事、歯磨き、睡眠等)する	V	29.1	38.6	32.3	70.9	1.9
0806	25	クレジットカード、ポイントカードなどを利用する	III	6.4	38.5	55.1	93.6	3.6
1002	30	公共交通機関の路線図を確認する	IV	7.2	38.4	54.3	92.8	3.0
1301	40	自転車の交通ルールを理解し遵守する	IV	8.0	38.4	53.6	92.0	3.3
1901	55	託児施設・保育施設を利用する	V	28.9	38.4	32.7	71.1	1.7
3001	83	職場であいさつする	VI	8.7	37.9	53.4	91.3	3.8
1003	31	公共交通機関での行き先・停留所を確認する	IV	7.1	37.8	55.1	92.9	3.0
4702関連	130	携帯電話・スマートフォンを利用する	X	7.9	37.7	54.5	92.1	4.9
3002	84	手助けに感謝する	VI	8.3	37.6	54.1	91.7	3.9
4702関連	131	SNS(LINE、Messengerなど)を利用する	X	8.2	37.1	54.8	91.8	4.7
1001	29	公共交通機関の時刻表を確認する	IV	7.2	36.0	56.8	92.8	3.1
0803	22	各種サービス(コンビニATM、クリーニング店、宅急便、出前)を利用する	III	4.4	35.7	59.9	95.6	3.5
1103	35	タクシーの運賃を支払う	IV	8.8	35.3	55.9	91.2	1.9
1302	41	駐輪場を利用する	IV	10.3	35.1	54.7	89.7	3.0
1004	32	公共交通機関で運賃を支払う・切符を購入する	IV	5.9	34.6	59.6	94.1	3.0
1802	54	子供の遊び場として公園を利用する	V	28.2	34.0	37.8	71.8	1.8
1303	42	施錠するなど自転車の盗難防止をする	IV	10.6	33.9	55.5	89.4	3.2
0903	28	ATMを利用する	III	5.1	33.8	61.0	94.9	3.4
0805	24	購入額を確認・計算する	III	4.7	32.8	62.5	95.3	4.1
0802	21	飲食店を利用し、注文や支払いなどをする	III	3.8	31.0	65.2	96.2	3.6

④「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が30%未満の項目

「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が30%未満となっている3項目は、いずれも「日本語でできる」の回答割合が高かった項目であり、回答者の多くが既に「日本語でできる」ため「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が低くなっていると考えられる。

表 40 「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が30%未満の項目

標準的なカリキュラム案の分類番号	設問番号順	調査項目	大分類	日本語でできないが、このままでもいい (%)	日本語でできないが、できるようになりたい (%)	日本語でできる (%)	日本語でできる+日本語でできないが、できるようになりたい (%)	遭遇頻度の平均点
0801	20	店員がいる店(スーパー、コンビニなど)で、買い物をする	Ⅲ	4.4	28.0	67.6	95.6	4.3
3101	86	人付き合いの中であいさつをする	Ⅶ	3.5	26.9	69.6	96.5	4.5
3102	87	自己紹介をする	Ⅶ	3.1	24.6	72.3	96.9	3.2

(6)15歳以下の子供がいる人、現在就業している人の回答結果

「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」の頻度の平均点や、「日本語でできる」の回答割合が低くなっているのは、本調査の回答者に占める15歳以下の子供がいる人、現在就業している人の割合が影響していると思われる。そのため、ここでは、回答者を15歳以下の子供がいる人、現在就業している人に絞った集計結果の概要を示す。

①15歳以下の子供がいる人の回答結果

「V 子育て・教育を行う」に分類される行為は、頻度の平均点、「日本語でできる」の回答割合、「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合のいずれも、全体の結果よりも高くなっている。

表 41 大分類ごとに見る遭遇頻度の平均点の分布(15歳以下の子供がいる人)

大分類	項目数	頻度の平均点			
		2.0未満	2.0以上 3.0未満	3.0以上 4.0未満	4.0以上
I 健康・安全に暮らす	13	3	8	2	0
II 住居を確保・維持する	6	3	3	0	0
III 消費活動を行う	9	0	2	5	2
IV 目的地に移動する	16	3	8	5	0
V 子育て・教育を行う	18	7	9	2	0
VI 働く	23	8	10	5	0
VII 人とかかわる	6	0	0	5	1
VIII 社会の一員となる	12	7	3	2	0
IX 自身を豊かにする	19	1	10	7	1
X 情報を収集・発信する	10	2	3	3	2
合計	132	34	56	36	6

表 42 大分類ごとに見る「日本語でできる」の回答割合の分布
(15歳以下の子供がいる人)

大分類	項目数	「日本語でできる」の回答割合				
		30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上
I 健康・安全に暮らす	13	0	4	7	2	0
II 住居を確保・維持する	6	0	4	2	0	0
III 消費活動を行う	9	0	1	2	3	3
IV 目的地に移動する	16	0	0	6	10	0
V 子育て・教育を行う	18	0	4	13	1	0
VI 働く	23	1	18	3	1	0
VII 人とかかわる	6	0	0	3	1	2
VIII 社会の一員となる	12	5	5	1	1	0
IX 自身を豊かにする	19	2	13	4	0	0
X 情報を収集・発信する	10	0	3	7	0	0
合計	132	8	52	48	19	5

表 43 大分類ごとに見る「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合の分布
(15歳以下の子供がいる人)

大分類	項目数	「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合				
		30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上
I 健康・安全に暮らす	13	0	1	5	7	0
II 住居を確保・維持する	6	0	0	2	3	1
III 消費活動を行う	9	0	6	0	3	0
IV 目的地に移動する	16	0	6	9	1	0
V 子育て・教育を行う	18	0	1	15	2	0
VI 働く	23	0	0	4	19	0
VII 人とかかわる	4	2	0	1	3	0
VIII 社会の一員となる	12	0	0	2	7	3
IX 自身を豊かにする	19	0	0	1	13	5
X 情報を収集・発信する	10	0	0	8	2	0
合計	132	2	14	47	60	9

②現在就業している人の回答結果

「VI 働く」に分類される行為は、頻度の平均点、「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合が、全体の結果よりも高くなっている。

表 44 大分類ごとに見る遭遇頻度の平均点の分布(現在就業している人)

大分類	項目数	頻度の平均点			
		2.0未満	2.0以上 3.0未満	3.0以上 4.0未満	4.0以上
I 健康・安全に暮らす	13	5	5	3	0
II 住居を確保・維持する	6	3	3	0	0
III 消費活動を行う	9	0	2	5	2
IV 目的地に移動する	16	2	4	10	0
V 子育て・教育を行う	18	18	0	0	0
VI 働く	23	6	7	6	4
VII 人とかかわる	6	0	0	3	3
VIII 社会の一員となる	12	7	3	1	1
IX 自身を豊かにする	19	0	8	10	1
X 情報を収集・発信する	10	1	4	1	4
合計	132	42	36	39	15

表 45 大分類ごとに見る「日本語でできる」の回答割合の分布(現在就業している人)

大分類	項目数	「日本語でできる」の回答割合			
		40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上
I 健康・安全に暮らす	13	0	9	4	0
II 住居を確保・維持する	6	2	2	2	0
III 消費活動を行う	9	0	2	1	6
IV 目的地に移動する	16	0	1	12	3
V 子育て・教育を行う	18	17	1	0	0
VI 働く	23	4	13	4	2
VII 人とかかわる	6	0	0	3	3
VIII 社会の一員となる	12	6	4	2	0
IX 自身を豊かにする	19	4	12	3	0
X 情報を収集・発信する	10	0	4	6	0
合計	132	33	48	37	14

表 46 大分類ごとに見る「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合の分布(現在就業している人)

大分類	項目数	「日本語でできないが、できるようになりたい」の回答割合			
		30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満
I 健康・安全に暮らす	13	0	0	10	3
II 住居を確保・維持する	6	0	1	4	1
III 消費活動を行う	5	4	2	3	0
IV 目的地に移動する	15	1	14	1	0
V 子育て・教育を行う	17	1	17	0	0
VI 働く	23	0	4	18	1
VII 人とかかわる	4	2	1	3	0
VIII 社会の一員となる	12	0	2	9	1
IX 自身を豊かにする	19	0	0	14	5
X 情報を収集・発信する	10	0	8	2	0
合計	132	8	49	64	11

2. 有識者会議

(1)有識者会議委員名簿

いせきす が こ 東石寿賀子 独立行政法人国際交流基金 日本語国際センター 専任講師

かね だ とも こ 金田智子 学習院大学 文学部 教授

せん だ たけし 仙田武司 公益財団法人しまね国際センター 多文化共生推進課長

ど い よしひこ 土井佳彦 特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事

や ぎきり え 矢崎理恵 社会福祉法人さぼうとにじゅういち 学習支援室コーディネーター

ヤ ン ジョ ン ヨ ン 楊廷延 群馬県立女子大学 地域日本語教育センター 専任講師

(敬称略・五十音順)

(2)有識者会議の経過

第1回(令和2年12月25日)

- 委員紹介
- 事業の概要説明
 - ・事業の趣旨説明
 - ・有識者会議の趣旨説明
 - ・事業の実施体制
 - ・事業の具体的な実施内容(案)
- 事業実施スケジュール
- ワーキンググループの具体的な業務について
- 実態調査について

第2回(令和3年2月8日)

- 実態調査の進捗報告
- ワーキンググループの活動状況
- ヒアリング調査実施概要

第3回(令和3年3月17日)

- これまでの作業経過について
 - ・実態調査結果報告
 - ・ワーキンググループの活動報告
- 実態調査結果の活用について
- ヒアリング調査の進捗報告

3. ワーキンググループ

(1) ワーキンググループ名簿

江原 真実 ^{え ばら ま み} 東京中野日本語学院 専任講師

田中 康予 ^{た なか や す よ} 早稲田大学大学院日本語教育研究科 修士課程

中川 美保 ^{なかがわ み ほ} 聖心女子大学 嘱託講師

前田 朝子 ^{まえ だ あ さ こ}

(敬称略・五十音順)

(2) ワーキンググループの活動経過

キックオフミーティング(令和2年12月28日/令和3年1月7日)

- ワーキンググループメンバー紹介
- 事業の概要説明
 - ・事業の趣旨説明
 - ・ワーキンググループの趣旨説明
 - ・事業の実施体制
 - ・事業の具体的な実施内容(案)
- 事業実施スケジュール
- ワーキンググループの具体的な業務について
- 実態調査について

ワークショップ(令和3年1月15日)

- B1 Can do素材作成の手順について

進捗報告・レベル調整(令和3年1月25日、2月8日、3月1日)

- ワーキンググループのメンバーからB1 Can do素材作成作業についての
所感・進捗報告
- 意見交換等
- 作業の進め方等について検討等

相互チェック作業(令和3年3月15日)

- 相互チェック作業の手順について確認、実施

文化庁委託事業報告書

令和2年度

日本語教育総合調査補助業務

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の
標準的なカリキュラム案」の改定のための基礎調査及び
Can do 作成に係る事業報告書

令和3年3月

株式会社47ブランディング